



香川大学大学院医学系研究科

大学院ガイド2024

医学系研究科
修士課程・博士課程
博士前期課程・博士後期課程

KAGAWA
UNIVERSITY

Graduate School
of Medicine

Master's
and
Doctoral
Course

【香川大学シラバス検索画面】

香川大学 HP からアクセスしてください。

ホーム＞学生生活・就職＞授業、履修＞シラバス

シラバス URL

<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/about-class/syllabus/>

シラバス QR コード



○香川大学大学院医学系研究科規程

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学大学院学則第4条第5項の規定に基づき、大学院医学系研究科（以下「研究科」という。）について必要な事項を定める。

(専攻)

第2条 研究科に、次の専攻及びコースを置く。

博士前期課程

看護学専攻

看護学コース

助産学コース

公衆衛生看護学コース

修士課程

臨床心理学専攻

博士後期課程

看護学専攻

博士課程

医学専攻

(専攻長及び副専攻長)

第3条 前条に規定する専攻に、専攻長を置く。

- 2 前項に規定する専攻長を補佐するため、各専攻に副専攻長を置くことができる。
- 3 専攻長及び副専攻長に関し必要な事項は、別に定める。

(心理臨床相談室)

第4条 研究科に、心理臨床相談室を置く。

- 2 心理臨床相談室に関し必要な事項は、別に定める。

(人材の養成及びその他教育研究上の目的)

第5条 博士前期課程看護学専攻は、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としている。具体的には人々のQOL（Quality of Life）の向上を目指した科学的、実践的な課題解決ができる能力を有し、グローバルな視野で看護学の発展と人々の健康に寄与する研究を遂行できる人材の育成を目指す。

- 2 修士課程臨床心理学専攻は、医学を融合させた、世界に通じる心理学及び臨床心理学の教育研究を目指し、心理援助者に必要な高度な知識と経験を有し、人間性の豊かな人材を育成することを目標としている。心理学及び臨床心理学の進歩に貢献するとともに、心理臨床の実践を通して、地域住民の福祉の充実発展に寄与することを目指す。
- 3 博士後期課程看護学専攻は、あらゆるライフステージにある人々の健康QOLの向上を目指し、健康に関連する学問分野との融合により看護を探究することで、生命・生活・人生に生じる様々な健康に関するイノベーションを起こすことに寄与し、高い倫理観・指導力をもつ看護実践者、教育・研究者を養成することを目指す。
- 4 博士課程は、医学の領域において、国際的な広い視野を持った研究者として自立し、独創的な研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えるとともに、研究・生命倫理に関し高い見識を有する研究者を育成し、もって医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを目指す。

(教育方法)

第6条 研究科の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）により行う。

- 2 博士前期課程看護学専攻、博士後期課程看護学専攻及び博士課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

（指導教員）

第7条 学生の研究指導のため、指導教員を置く。

- 2 指導上必要な場合には、副指導教員を置くことができる。

（授業科目及び履修単位数）

第8条 博士前期課程看護学専攻における授業科目及び履修単位数は、別表第1のとおりとする。

- 2 修士課程臨床心理学専攻における授業科目及び履修単位数は、別表第2のとおりとする。
- 3 博士後期課程看護学専攻における授業科目及び履修単位数は、別表第3のとおりとする。
- 4 博士課程における授業科目及び履修単位数は、別表第4のとおりとする。

（履修方法）

第9条 博士前期課程看護学専攻の学生は、在学期間中に前条第1項に規定する授業科目について、次の区分により看護学コースにあつては30単位以上、助産学コースにあつては61単位、公衆衛生看護学コースにあつては61単位以上を修得しなければならない。

- (1) 基盤科目 5科目 10単位以上
 - (2) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6単位
 - (3) 専門科目のうち、上記(2)の科目以外の特論を 2科目 4単位
 - (4) 研究科目 10単位
 - (5) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。
 - (6) 助産学コースの学生は、専門科目（助産学）を必修科目とする。
 - (7) 公衆衛生看護学コースの学生は、専門科目（公衆衛生看護学）を必修科目とする。
- 2 修士課程臨床心理学専攻の学生は、在学期間中に前条第2項に規定する授業科目について、次の区分により41単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 基礎科目のうち必修科目 4科目 5単位以上
 - (2) 専門科目のうち必修科目 18科目 32単位以上
 - (3) 研究科目 4単位
 - 3 修士課程臨床心理学専攻の学生で、臨床心理士資格試験の受験資格を取得しようとする者は、前条第2項に規定する授業科目のうち別に定める科目の単位を修得しなければならない。
 - 4 博士後期課程看護学専攻の学生は、在学期間中に前条第3項に規定する授業科目について、次の区分により15単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 基盤科目の必修科目 2単位
 - (2) 基盤科目の選択必修科目 1単位以上
 - (3) 専門科目の必修科目 4単位
 - (4) 専門科目の選択科目 2単位以上
 - (5) 特別研究 6単位基盤科目の選択科目のうち、医科学特論、希少糖科学特論から1単位以上を選択必修

とする。

5 博士課程の学生は、在学期間中に前条第4項に規定する授業科目について、次の区分により30単位以上を修得しなければならない。

(1) 共通科目 6単位

(2) 専門科目 所属するコースの2科目群のうち主科目を選択する。

主科目 8単位以上（主指導教員（連携大学院については副指導教員）の開講する科目を1科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。）

副科目 4単位以上（主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。）

(3) 研究科目 8単位

5 教育上有益と認められる場合は、他研究科等の授業科目を履修することができる。

6 学生は、他の研究科等の授業科目を履修しようとするときは、研究科長を経て当該研究科長等の許可を受けなければならない。

（成績評価）

第10条 授業科目の試験又は研究報告の成績は、秀、優、良、可又は不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とする。

（学位）

第11条 研究科において授与する学位は、修士又は博士とし、専攻分野として修士にあっては看護学又は臨床心理学、博士にあっては医学又は看護学の名称を付記するものとする。

（雑則）

第12条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、医学系研究科教授会が定める。

附 則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成15年9月30日に香川医科大学大学院（以下「旧香川医科大学大学院」という。）に在学し、かつ平成16年3月31日に旧香川医科大学大学院に在学する者（以下「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学等する者が在学しなくなるまでの間、旧香川医科大学大学院を修了するために必要とされる教育課程その他教育に必要な事項は、旧香川医科大学の大学院学則、大学院医学系研究科規程その他の規程等の定めるところによる。

附 則（平成17年4月1日）

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成16年度以前に入学した者の教育課程及び修了要件は、改正後の第5条第2項及び別表第2の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則（平成19年4月1日）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年4月1日）

この規程は、平成20年4月1日から施行する。ただし、平成20年3月31日までに入学した学生については、なお従前の例による。

附 則（平成21年4月1日）

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年4月1日）

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年4月1日）

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年4月1日）

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年4月1日）

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成28年4月1日）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。ただし、平成28年3月31日までに入学した学生については、なお従前の例による。

附 則（平成29年4月1日）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年4月1日）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日）

この規程は、令和2年4月1日から施行する。ただし、令和2年3月31日までに入学した学生については、なお従前の例による。

附 則（令和3年4月1日）

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和4年4月1日）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。ただし、令和4年3月31日までに入学した学生については、なお従前の例による。

附 則（令和5年4月1日）

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日）

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

別表第1

専攻	科目領域	授業科目	履修年次	単位
看護学 専攻	基盤科目	理論看護学*	1・2	2
		看護倫理学*	1・2	2
		看護研究方法論1*	1・2	2
		看護研究方法論2*	1・2	2
		看護教育学	1・2	2
		看護管理学	1・2	2
		臨床科学	1・2	2
		国際看護学特論	1・2	2
		養護教育特論	1・2	2
	専門科目	看護医科学特論	1	2
		基礎看護学特論	1	2
		急性期成人看護学特論	1	2
		慢性期成人看護学特論	1	2
		小児看護学特論	1	2
		母性看護学特論	1	2
		老年看護学特論	1	2
		精神看護学特論	1	2
		在宅看護学特論	1	2
		地域看護学特論	1	2
		看護医科学演習	1	4
		基礎看護学演習	1	4
		急性期成人看護学演習	1	4
		慢性期成人看護学演習	1	4
		小児看護学演習	1	4
		母性看護学演習	1	4
		老年看護学演習	1	4
		精神看護学演習	1	4
在宅看護学演習	1	4		

	地域看護学演習	1	4
専門科目（助産学）	助産学特論Ⅰ（助産学概論）	1	1
	助産学特論Ⅱ（リプロダクティブヘルスと権利）	1	1
	助産学特論Ⅲ（周産期学婦人科学）	1	2
	助産学特論Ⅳ（胎児学・新生児乳幼児学）	1	1
	助産学特論Ⅴ（薬理・臨床検査学）	1	1
	助産診断学Ⅰ（妊娠期）	1	1
	助産診断学Ⅱ（分娩期）	1	1
	助産診断学Ⅲ（産褥期，新生児・乳幼児）	1	1
	周産期ハイリスクケア	1	1
	助産診断学演習Ⅰ（妊娠期）	1	2
	助産診断学演習Ⅱ（分娩期・産褥期）	1	3
	助産診断学演習Ⅲ（新生児・乳幼児）	1	1
	地域母子保健学特論	1	2
	助産業務管理学特論	1	1
	医療福祉経営論	1	1
	助産学実習Ⅰ	1	1
	助産学実習Ⅱ	1	8
	助産学実習Ⅲ（助産管理）	1	1
地域母子保健学実習	2	1	
専門科目（公衆衛生看護学）	公衆衛生看護学特論Ⅰ（概論）	1	2
	公衆衛生看護学特論Ⅱ（技術論）	1	2
	公衆衛生看護学特論Ⅲ（活動論）	1	2
	生活習慣病予防看護技術特論（重症化予防）	1	2
	健康生成活動特論	1	2
	公衆衛生看護管理特論	1	2
	公衆衛生看護管理演習	1	2
	公衆衛生看護倫理特論	1	2
	健康危機管理特論	1	2

	疫学特論	1	2
	実践統計特論	1	2
	保健医療福祉行政特論	1	2
	保健医療福祉行政演習	1	2
	地域健康生活支援実習	1	2
	公衆衛生看護学実習	2	3
研究科目	特別研究	2	10

履修方法

- 1) 基盤科目 5科目10単位以上
- 2) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6単位
- 3) 専門科目のうち、上記2)の科目以外の特論を2科目4単位
- 4) 研究科目10単位
- 5) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。
- 6) 助産学コースの学生は、専門科目（助産学）を必修科目とする。
- 7) 公衆衛生看護学コースの学生は、専門科目（公衆衛生看護学）を必修科目とする。

別表第2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
基礎科目	臨床心理学研究法特論	1通	2		
	臨床心理学特論Ⅰ	1前		2	
	臨床心理学特論Ⅱ	1後		2	
	心理援助者のための職業倫理と研究・生命倫理	1通	1		
	心理援助職のための応用医学特論	1前	1		
	心理援助職のための多職種連携	1前	1		
専門科目	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2		
	臨床心理面接特論Ⅱ	1後		2	
	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1前	2		
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後		2	
	臨床心理基礎実習	1通	2		
	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ（心理臨床事例検討実習Ⅱ））	2通	1		
	臨床心理実習Ⅱ	2通		1	

専門科目	心理学研究法特論	1 前		2	
	教育臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1 後	2		
	発達臨床心理学特論	1 前		2	
	家族・集団臨床心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1 後	2		
	産業・労働心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2 前	2		
	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2 前	2		
	福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2 前	2		
	精神医療における心理支援（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1 前	2		
	心身医学と心理支援（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1 後	2		
	面接技法演習	1 後		2	
	力動的心理療法特論	1 後		2	
	心の健康教育に関する理論と実践	2 後	2		
	心理実践実習Ⅰ（ケースフォーミュレーション実習）	1・2 通	1		
	心理実践実習Ⅱ（心理臨床事例検討実習Ⅰ）	1 通	1		
	心理実践実習Ⅳ（心理臨床ケース実習）	1・2 通	2		
	心理実践実習 A（地域医療実習）	1 通	1		
	心理実践実習 B（福祉・教育実習）	1 通	2		
	心理実践実習 C（精神・神経領域病院実習）	2 通	1		
心理実践実習 D（身体領域病院実習）	2 通	1			
研究科目	課題研究	2 通	4		

履修方法

- (1) 基礎科目のうち必修科目 4 科目 5 単位以上
- (2) 専門科目のうち必修科目 18 科目 32 単位以上
- (3) 研究科目 4 単位

別表第3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
基盤科目	健康イノベーション概論	1 前	1		
	健康イノベーション研究方法論	1 前	1		
	医科学特論	1 通		2	
	希少糖科学特論	1 通		1	
	小計 (4 科目)	—	2	3	0
専門科目	健康発達支援看護特講	1 前		2	
	地域ケアシステム創造看護特講	1 前		2	
	健康創造看護学演習	1 後	4		
	小計 (3 科目)	—	4	4	0
特別研究	健康創造看護学特別研究	1・2・3 通	6		
	小計 (1 科目)	—	6	0	0
合計 (8 科目)		—	12	7	0

履修方法

- 1 基盤科目の必修科目 2 単位
- 2 基盤科目の選択必修科目 1 単位以上
- 3 専門科目の必修科目 4 単位
- 4 専門科目の選択科目 2 単位以上
- 5 特別研究 6 単位

基盤科目の選択科目のうち、医科学特論、希少糖科学特論から 1 単位以上を選択必修とする。

別表第4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
共通科目	医科学概論	1通	2		
	医科学特論	1通	2		
	希少糖科学特論	1通	1		
	研究・生命倫理	1通	1		

専 門 科 目	基 礎 臨 床 研 究 医 ・ 生 命 科 学 研 究 者 育 成 コ ー ス	ラ イ フ サ イ エ ン ス 科 目 群	発達神経科学	1・2通	4	
			分子形態学特論	1・2通	2	
			組織細胞科学特論	1・2通	4	
			神経細胞生物学特論	1・2通	4	
			神経生理学	1・2通	4	
			生体分子センサー特論	1・2通	4	
			呼吸循環生理学	1・2通	4	
			循環生理シグナル伝達学	1・2通	4	
			薬理学特論	1・2通	4	
			脂質生物学	1・2通	4	
			酵素学実験法	1・2通	4	
			医用化学特論	1通	4	
			核医学画像解析	1・2通	2	
			腫瘍病理学	1・2通	2	
			分子神経病理学	1・2通	4	
			免疫組織化学	1・2通	4	
			免疫制御学	1・2通	4	
			寄生虫学特論	1・2通	2	
			衛生動物学特論	1・2通	2	
			微生物ゲノム科学	1・2通	2	
			生活習慣病予防論	1・2通	2	
			臨床疫学	1通	1	
			生物統計学	1通	1	
			医療管理学	1通	1	
			健康危機管理論	2通	1	
			国際保健論	2通	1	
			法医学特論	1・2通	2	
			医学教育学特論	1・2通	2	
			遺伝情報解析学	1・2通	4	
			疾患ゲノム情報学	1・2通	4	
生体分子立体構造学	1・2通	2				
実験動物学・動物遺伝学	1・2通	2				
糖鎖構造解析	1・2通	2				
医療情報学	1・2通	4				

専 門 科 目	基 礎 臨 床 研 究 医 ・ 生 命 科 学 研 究 者 育 成 コ ー ス	ト	バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2
		ラ	中耳・内耳バイオイメージング	2通	2
		ン	形成外科におけるバイオイメージング	2通	2
		ス	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナル	1・2通	4
		レ	ルリサーチ		
		ー	生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4
		シ	加齢の分子機序	1・2通	2
		ョ	免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4
		ナ	微生物共生システムと応用	1・2通	2
		ル	健康測定・アセスメント	1・2通	2
		リ	医療経済・テクノロジーアセスメント	1通	1
		サ	医療政策論	1通	1
		ー	死因究明技術の開発	1・2通	2
		チ	タンパク質分子設計	1・2通	2
		科	精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4
		目	イオンチャネル病	1・2通	2
		群	睡眠（終夜脳波システム）の臨床開発	1・2通	4
			認知症診断の技術研究	1・2通	4
			脂質異常症と心血管病	1・2通	4
			慢性腎臓病の進展抑制・機序の解明	1・2通	2
			周産期の脳発達と子供の健康	1通	4
			高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2
			近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2
			前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2
			低侵襲手術術式の開発	2通	2
			癌とマイクロRNA	1通	2
			癌と遺伝子異常	2通	2
			がん薬物療法	1・2通	2
			分子イメージングの臨床応用	1・2通	4
			放射線医学	1・2通	4
	動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4		
	病理診断学の臨床応用	1・2通	4		
	神経保護薬の臨床開発	1・2通	4		
	救急・生体侵襲制御	1・2通	2		
	臨床栄養・微生物学	1・2通	4		

専 門 科 目	高 度 医 療 人 育 成 コ ー ス	臨 床 医 ・ メ デ ィ カ ル ス タ ツ フ 養 成 科 目 群	希少糖医学	1通	1	
			地域医療学	1通	1	
			高齢者医療学	1通	1	
			医療倫理	1通	1	
			生活習慣病学	1通	1	
			災害医療・災害医学	1通	1	
			神経病学	1・2通	2	
			脳神経外科学	1・2通	4	
			脳卒中特論	1・2通	2	
			運動器病学	1・2通	2	
			精神病学	1・2通	4	
			腎・泌尿器病学	1・2通	4	
			血液病学(血液・造血器・リンパ)	1・2通	4	
			免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2	
			呼吸器病学(内科学)	1・2通	2	
			呼吸器病学(外科学)	1・2通	4	
			先端腫瘍免疫治療学	1通	2	
			消化器病学(内科学)	1・2通	2	
			消化器病学(外科学)	1・2通	2	
			循環器病学(内科学)	1・2通	2	
			循環器病学(外科学)	1・2通	4	
			母子周産期医学	1・2通	2	
			皮膚病学	1・2通	2	
			眼病学	1・2通	2	
			口腔病学	1・2通	2	
			頭頸部病学	1通	2	
			耳鼻咽喉疾患学	2通	2	
			核医学	1・2通	4	
			IVR学	1・2通	4	
			痛み学	1通	2	
			呼吸循環制御学	2通	2	
			小児科学	1・2通	2	
内分泌代謝学	1通	2				
糖尿病学	2通	2				
救命救急医学	1・2通	2				
薬剤学	1・2通	2				
小児外科学	1・2通	4				

専門科目	高度医療人育成コース	がんプロフェッショナル養成科目群	共通コアカリキュラム	研究方法論応用 がん疫学論 臨床研究論 医療統計学	1通	1		
				悪性腫瘍の管理と治療 検査、診断法概論 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 老年腫瘍学 がんの心理社会的側面	1通	1		
				医療倫理学・医療経済学	1・2通	0.5		
				医療対話学	1・2通	0.5		
				がんチーム医療実習	1・2通	0.5		
				医療情報学（腫瘍学における情報システム）	1・2通	0.5		
				がん専門共通科目	がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臨床検査、病理、放射線診断学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療	2通 2通 2通 2通	1 0.5 2 0.5	
			がん専門選択科目	放射線治療法 臨床腫瘍学 放射線腫瘍学	2通 2・3通 2・3通	1 2 2		
		課題研究				3・4通	8	

- (1) 共通科目 6 単位、専門科目 16 単位以上、課題研究 8 単位の計 30 単位以上とする。
- (2) 専門科目は 16 単位以上のうち、主科目から 8 単位（主指導教員（連携大学院については副指導教員）の開講する科目を 1 科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。）、副科目（主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。）から 4 単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から 4 単位以上を履修する。

香川大学大学院医学系研究科学位規則実施細則

(目的)

第1条 この細則は、香川大学学位規則（以下「規則」という。）第26条の規定に基づき、香川大学大学院医学系研究科（以下「医学系研究科」という。）における修士及び博士の学位授与の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(申請資格等)

第2条 規則第4条の規定に基づき修士の学位授与を申請することのできる者は、医学系研究科に在学中で、香川大学大学院学則（以下「学則」という。）第43条に規定する単位を修得した者又は申請した日の属する学年末までに修得する見込みが確実な者とし、申請時期は第2年次の医学系研究科教授会が指定する日までとする。ただし、優れた研究業績を上げた者については、第1年次の医学系研究科教授会が指定する日までとする。

2 規則第5条第1項の規定に基づき博士の学位授与を申請することのできる者は、医学系研究科に在学中で学則第44条に規定する単位を修得した者又は申請した日の属する学年末までに修得する見込みが確実な者とし、申請時期は医学専攻は第4年次の、看護学専攻は第3年次の医学系研究科教授会が指定する日までとする。ただし、医学系研究科教授会において優れた研究業績を上げたと認められた者は、医学系研究科教授会専門委員会の指定した期間に学位授与を申請するものとする。

3 規則第5条第2項の規定に基づき医学専攻の学位論文を提出することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 博士課程に4年以上在学して所定の単位を修得した後退学した者
- (2) 医学部医学科又は歯学部等の6年制の大学を卒業した者で、基礎医学においては5年以上、臨床医学においては6年以上の研究歴を有するもの
- (3) 前号以外の4年制の大学を卒業した者で、基礎医学においては7年以上、臨床医学においては8年以上の研究歴を有するもの
- (4) その他医学系研究科教授会が前3号と同等以上と認めた者

4 規則第5条第2項の規定に基づき看護学専攻の学位論文を提出することができる者は、次の各号の一に該当し、指導教員が推薦する者とする。

- (1) 大学院の修士課程（博士前期課程）を修了した後、5年以上の看護学の研究歴を有する者
- (2) 大学を卒業した後、8年以上の看護学の研究歴を有する者
- (3) その他医学系研究科教授会が前2号と同等以上と認めた者

第3条 前条第3項に規定する研究歴とは、次に掲げるものとする。

- (1) 大学の専任職員として医学又は歯学の研究に従事した期間
- (2) 大学院の医学研究科又は歯学研究科を退学した者の大学院に在学した期間
- (3) 大学の研究生及び専攻生等として医学又は歯学の研究に従事した期間
- (4) 医学系研究科教授会が前3号と同等以上と認める方法により研究に従事した期間

2 前項の研究に従事した期間のうち、香川大学医学部（以下「医学部」という。）以外に係るものについては、それぞれの研究歴に関する証明書を提出しなければならない。

(学位論文)

第4条 規則第8条による修士又は博士の学位論文は、原則原著論文とする。また、共著による場合は筆頭著者に限るものとし、過去に学位授与の申請が行われなかったものであり、かつ、将来も他の共著者から学位授与の申請が行われないものでなければならない。

2 規則第8条による医学専攻博士の学位論文は、前項に定めるもののほか次の各号に掲げるものとする。

- (1) 課程博士又は論文博士を申請する学位論文は、いずれも英文とする。
 - (2) 学位論文は、印刷公表したもの（オンラインによる公表を含む。）又は印刷公表したものでない場合は、学会誌等の掲載受理がなされた証明書等が添付されたものとする。
 - (3) 前号の学会誌等は、掲載につき厳格な審査制度を具備するものであることを要する。
- 3 規則第8条による看護学専攻博士の学位論文は、第1項に定めるもののほか次の各号に掲げるものとする。

- (1) 学位論文は、和文又は英文とする。
- (2) 査読のある学術雑誌（英語論文を含む）へ掲載済である、又は掲載が決定していなければならない。掲載が決定している論文は、掲載受理がなされた証明書等が添付されたものとする。

（審査委員会）

第5条 医学系研究科教授会は、当該学位論文の審査を行うため審査委員会を設置する。

- 2 前項の審査委員は、主査1人及び副主査2人とし、博士課程は医学系研究科教授会の構成員の教授が、博士前期課程、博士後期課程及び修士課程は各課程担当教員が、いずれかを担当するものとする。この場合において、副主査については、授業担当教員（博士課程及び修士課程臨床心理学専攻は2人以内、博士前期課程及び博士後期課程看護学専攻は1人以内）に担当させることができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、医学系研究科教授会が必要と認めたときは、前項の審査委員のほかに当該構成員以外の本学の教員又は他の大学の大学院若しくは研究所等の教員を加えることができる。
- 4 審査委員会は、学位論文の審査のほか博士前期課程、博士後期課程、修士課程及び博士課程の学生については最終試験を、規則第5条第2項の規定によるものについては学力の確認を行う。

（資格審査）

第6条 規則第9条の審査に先立ち、規則第5条第2項に基づき学位論文を提出する者については研究歴等の申請資格の審査を行うものとする。

- 2 前項の資格審査は、医学系研究科教授会専門委員会が行う。

（外国語の試験）

第7条 規則第12条に基づく外国語（英語）の試験は、年2回行うものとし、学位論文提出者がいずれの時期に試験を受けるべきかは医学系研究科が指定する。

- 2 外国語試験の合格証明書には、有効期限は設けない。また、不合格者には、再度の受験の機会を与える。
- 3 医学部の専任の教職員若しくは医員として在職中の者、研究生として在学中の者又は外国人研究者として在籍中の者は、学位論文の提出前に外国語試験を受けることができるものとする。
- 4 独立行政法人日本学術振興会論文博士号取得希望者に対する支援事業による論博研究者は、学位論文の提出前に外国語試験を受けることができるものとする。

（修士論文発表会）

第8条 修士論文の内容については、公開の場で発表しなければならない。

- 2 修士論文の発表会は、2月に開催する。ただし、必要がある場合は、随時開催することができる。
- 3 修士論文の発表会の運営は、医学系研究科教授会専門委員会が行うものとする。

（公開の学位論文審査）

第9条 規則第5条第1項又は第2項の種別にかかわらず学位論文の審査は、公開とする。

- 2 公開の学位論文審査（以下「公開審査」という。）は、学位申請者ごとに実施日を決め

て行う。

- 3 公開審査の進行は、当該学位論文の主査が担当する。
- 4 公開審査を受ける者は、1,000 字程度の発表内容要旨を準備し、学会発表形式で発表する。
- 5 公開審査実施に際して、主査の指名する指定討論者を 1 人以上置くものとする。
- 6 指定討論者は、学内外の助教以上の教員又は研究所等の研究者であり、審査する学位と同等以上の学位を有する者とする。

(学位授与の時期)

- 第 10 条 規則第 4 条及び規則第 5 条第 1 項に基づく修士及び博士の学位授与の時期は、原則として学位論文審査願を提出した年度末月の別に定める日とする。ただし、優れた研究業績を上げた者又は標準修業年限を超えて在学した者の修了の時期は、規則第 15 条第 1 項に定める学位授与決定後の 6 月、9 月、12 月又は 3 月の別に定める日とすることができる。
- 2 規則第 5 条第 2 項に基づく博士の学位授与の時期は、規則第 15 条第 1 項に規定する議決が行われた日とする。

(実施細目)

- 第 11 条 この細則に定めるもののほか、修士及び博士の学位授与の実施に関し必要な事項は、医学系研究科教授会が定めることができる。

附 則

この細則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 16 年 7 月 8 日)

この細則は、平成 16 年 7 月 8 日から施行する。

附 則 (平成 18 年 4 月 1 日)

この細則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 20 年 4 月 1 日)

- 1 この細則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 4 条第 2 項第 1 号の規定の適用については、次のとおりとする。
 - (1) 英文による博士課程の学位論文については、平成 20 年 4 月 1 日以後入学する者から適用する。
 - (2) 英文による論文博士に係る学位論文については、平成 23 年 4 月 1 日以後提出する者から適用する。

附 則 (平成 20 年 11 月 19 日)

この細則は、平成 20 年 11 月 19 日から施行する。

附 則 (平成 21 年 6 月 17 日)

この細則は、平成 21 年 6 月 17 日から施行する。

附 則 (平成 23 年 4 月 1 日)

この細則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 24 年 4 月 1 日)

この細則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 26 年 6 月 1 日)

この細則は、平成 26 年 6 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 2 年 4 月 1 日)

この細則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 2 年 11 月 1 日)

この細則は、令和 2 年 11 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 4 年 4 月 1 日)

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

香川大学大学院医学系研究科（修士課程、博士前期課程及び博士後期課程）長期履修学生取扱細則

（趣旨）

第1条 この細則は、香川大学大学院学則第34条の規定に基づき、医学系研究科修士課程、博士前期課程及び博士後期課程における長期履修学生の取扱いに関し必要な事項を定める。

（対象学生）

第2条 長期履修学生の対象となる学生は、職業を有している等の事情による者で、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する者とする。

（長期履修の期間等）

第3条 長期履修学生の履修の期間は、修士課程及び博士前期課程は3年を、博士後期課程は4年を限度とし、1年を単位として認める。

2 長期履修学生の1年間に履修登録できる授業の単位数は、20単位を限度とする。ただし、修了要件とならない授業科目の単位については、これに含めない。

（申請手続）

第4条 長期履修学生となることを希望する者は、入学試験の出願期限又は1年次の1月末日までに、長期履修学生申請書（別紙様式第1号）、在職証明書（様式は自由で在職が確認できる書類）等を研究科長に提出する。

（認定の通知）

第5条 医学系研究科は、長期履修の申請に基づき審査の上、長期履修の可否について申請者に対して3月末日までに文書により通知する。

（授業料）

第6条 長期履修学生の授業料の年額は、香川大学大学院学則第57条の定めるところによる。

（長期履修期間の変更）

第7条 長期履修学生で認定された履修期間について、特別な理由により短縮を希望する学生は、1月末日までに、長期履修期間変更願（別紙様式第2号）を研究科長に提出しなければならない。

附 則

この細則は、平成19年6月20日から施行する。

附 則（平成20年10月15日）

この細則は、平成20年10月15日から施行する。

附 則（令和元年5月1日）

この細則は、令和元年5月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日）

この細則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和4年4月1日）

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

香川大学大学院医学系研究科長 殿

申請者

受験(学籍)番号

氏名

印

保証人氏名

印

私は、大学院医学系研究科において下記のとおり長期履修学生を申請します。

長期履修学生申請書

ふりがな		男・女	指導教員
氏名			印
生年月日	年 月 日		
現住所	〒 TEL(-)		
勤務先 (職種)			
勤務先所在地	〒 TEL(-)		
修学予定年数	年 (修了予定 令和 年 月)		
長期履修希望理由			

香川大学大学院医学系研究科長 殿

申請者

学籍番号

氏名

印

保証人氏名

印

私は、大学院医学系研究科で現在認定されている長期履修期間の変更を、下記のとおり申請します。

長期履修期間変更願

ふりがな		男・女	指導教員
氏名			印
生年月日	年 月 日		
現住所	〒 TEL(-)		
勤務先 (職種)			
勤務先所在地	〒 TEL(-)		
変更願履修期間	年 (修了予定 令和 年 月)		
現認定履修期間	年 (修了予定 令和 年 月)		
履修期間変更理由			

香川大学 科目ナンバリングについて

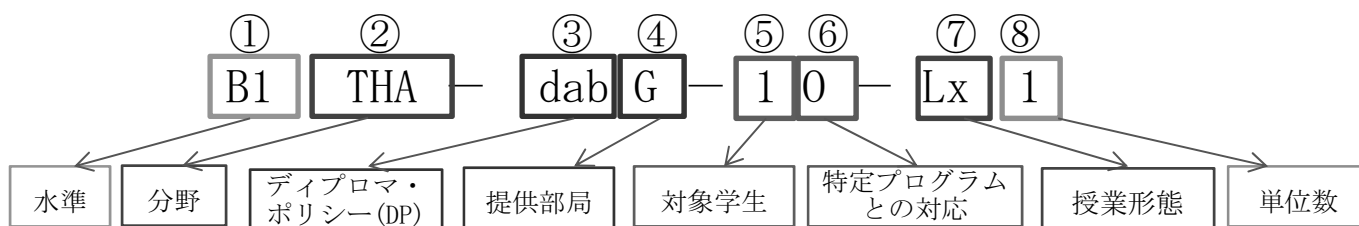
1. 科目ナンバリングとは

本学では、「科目ナンバリング」を導入しています。科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し、その科目の水準や内容等をコード化することにより教育課程の体系性を明示する仕組みを言います。学生が授業を受けるにあたり、その受講科目がカリキュラムの中でどのような水準でどのような位置付けにあり、そしてどのような能力を身につけるのに役立つ授業なのか等を確認する手助けとなります。

また、近年、大学教育のグローバル化が進む中、留学を通じた単位互換制度等を運用するに当たり、授業科目の内容と水準をコード化し簡潔に示すことにより、これら制度の円滑な運用が期待できます。

2. コードの意味（ナンバリング構成要素）

例：全学共通科目「想像力の教室」の場合



① 水準（大文字アルファベット1ケタ及び数字1ケタの組み合わせ）

その授業科目が教育課程のどの位置付けにあるものかを示しています。

B：学士課程	1：入門科目
M：修士課程（相当）	2：基礎科目
D：博士課程	3：応用科目
	4：統合科目
	0：その他の科目

② 分野（大文字アルファベット3ケタ）

その授業科目がどの学問分野であるかを示しています。

③ ディプロマ・ポリシー（共通教育スタンダード）（アルファベット3ケタ）

ディプロマ・ポリシー（DP）とは、大学の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針です。

本学では、学士課程、大学院課程ごとに以下の表に示す項目をディプロマ・ポリシー（全学共通教育においては共通教育スタンダード）の構成要素として設定しています。ナンバリング構成要素の③DP（3ケタ）は、その授業がどのDPの実現に重要な役割をもつか、関連の深いものから3

つを示しています。

学士課程のDP（共通教育スタンダード）
a：言語運用能力（課題解決のための汎用的スキル）
b：知識・理解（広範な人文・社会・自然に関する知識）
c：問題解決・課題探求能力（21世紀社会の諸課題に対する探求能力）
d：倫理観・社会的責任（市民としての責任感と倫理観）
e：地域理解（地域に関する関心と理解力）
f：教職に対する使命感 ※教育学部のみDP
x：該当なし

大学院課程のDP
A：専門知識・理解
B：研究能力・応用力
C：倫理観・社会的責任
D：グローバルマインド
X：該当なし

④ 提供部局（大文字アルファベット1ケタ）

その授業科目を開講する学部、研究科等を示しています。

- G：大学教育基盤センター
- L：教育学部・教育学研究科
- J：法学部・法学研究科
- E：経済学部・経済学研究科
- M：医学部・医学系研究科
- T：創造工学部／工学部・工学研究科
- A：農学部・農学研究科
- S：地域マネジメント研究科
- C：創発科学研究科

⑤ 対象学生（数字1ケタ）

その授業科目の対象となる学生を示しています。

1：全学生
2：提供部局に所属する学生のみ
3：提供部局に所属する学生＋受講を希望する学部学生
4：提供部局に所属する大学院生＋受講を希望する大学院生
5：特定プログラムを履修している学生のみ
6：夜間主コースに所属する学生のみ

⑥ 特定プログラムとの対応（大文字アルファベット1ケタ）

その授業科目が高度教養教育科目、ネクスト・プログラム関連科目かどうかを示しています。

A：高度教養教育科目
N：ネクスト・プログラム関連科目
M：高度教養教育科目及びネクスト・プログラム関連科目
0：対応なし

⑦ 授業形態（大文字アルファベット1ケタ及び小文字アルファベット1ケタの組み合わせ）

その授業科目が主にどのような形態で実施されるかを示しています。

L：講義	g：グループワーク
E：演習	p：PBL
P：実験・実習	f：フィールドワーク
M：講義＋実験・実習（医学部のみ）	e：フルeラーニング
	b：ブレンディッドラーニング（反転学習等）
	x：該当なし

○PBL

Problem Based Learning や Project Based Learning の略称。前者は、社会で起こりうる現実的な問題をもとに学習し、問題の発見と解決策を検討するプロセスを通じて学ぶ形態。後者は、大卒のテーマに沿って学生が自ら課題や目標を設定し、その解決や実現に向けて自ら計画し、実行する過程から学ぶ形態。

○フィールドワーク

教室を出て現地で観察することから学びを得る形態。

○フルeラーニング

eラーニングは、インターネットに接続されたコンピュータを使って電子教材（動画コンテンツを含む）で学習する形態。特に、フルeラーニングは一度も対面授業を含まない形態。

○ブレンディッドラーニング（反転学習）

eラーニングと対面授業を組み合わせた形態。特に、反転学習はeラーニングによる授業外学修（宿題など）と講義室での学びの内容を逆転させた形態。

⑧ 単位数（数字1ケタ）

その授業科目の単位数を示しています。（Mは10単位以上。）

ナンバリング分野別コードの一般ルール

- ① 本学の科目領域に依拠した区分から分野別コードを選択する。
 ② ①が難しい場合に、日本学術会議の分野別委員会に依拠した区分から分野別コードを選択する。
 ③ ①、②が難しい場合には、部局ごとに分野別コードを作成する。
 ※ 学部開設科目は、可能な限り①、②の分野別コードに割り当てる。

①本学の科目領域に依拠した区分	②日本学術会議の分野別委員会に依拠した区分
哲学・倫理学	哲学
芸術	—
心理学	心理学・教育学
社会学	社会学
教育学	心理学・教育学
歴史学	史学
文学	言語・文学
言語学	言語・文学
法学	法学
政治学	政治学
経済学	経済学
経営学	経営学
数学	数理科学
地球科学	地球惑星科学
物理学	物理学
化学	化学
生物学	基礎生物学、統合生物学
地理学	—
統計学	—
情報科学	情報学
医学	基礎医学、臨床医学
看護学	—
英語	—
初修外国語	—
日本語	—
健康・スポーツ	—
	地域研究
	農学
	食料科学
	健康・生活科学
	歯学
	薬学
	環境学
	総合工学
	機械工学
	電気電子工学
	土木工学・建築学
	材料工学

分野名称(①+②)	コード (半角大文字・英数3桁)	元の表記
哲学・倫理学	PHL	philosophy/ethics
芸術	ART	art
心理学	PSY	psychology
社会学	SCL	sociology
教育学	PDG	pedagogy
歴史学	HST	history
文学	LTR	literature
言語学	LNG	linguistics
法学	JRS	jurisprudence
政治学	PLT	politics
経済学	ECN	economics
経営学	BSN	business administration
数学	MTH	mathematics
地球科学	ERT	earth science
物理学	PHY	physics
化学	CHE	chemistry
生物学	BIO	biology
地理学	GEO	geography
統計学	STT	statistics
情報科学	INF	information science
医学	MED	medicine
看護学	NRS	nursing
英語	ENG	english
ドイツ語	DEU	deutsch
フランス語	FRA	français
中国語	CHN	chinese
韓国語	KOR	korean
日本語	JPN	japanese
健康・スポーツ	SPR	sports activity
地域研究	RG0	regional research
農学	AGR	agriculture
食料科学	FDS	food science
健康・生活科学	HLT	health/family and consumer science
歯学	DNT	dentistry
薬学	PHR	pharmacy
環境学	ENV	environmentology
総合工学	GNR	general engineering
機械工学	MCH	mechanical engineering
電気電子工学	ELC	electric and electronic engineering
土木工学・建築学	CVL	civil engineering/architecture
材料工学	MTR	material engineering

+

③部局独自分野	コード (半角大文字・英数3桁)	元の表記	提出部局
ライフデザイン	LFD	life design	大学教育基盤センター
大学入門ゼミ	ACL	academic literacy	大学教育基盤センター
学問への扉	IAR	introduction to academic research	大学教育基盤センター
主題	THM	theme	大学教育基盤センター
特別・複合領域	MAU	multi-area unit	大学教育基盤センター
高度教養教育科目	LAA	liberal arts course (advanced)	大学教育基盤センター
広範教養教育科目	LAC	liberal arts course (comprehensive)	大学教育基盤センター
音楽	MSC	music	教育学部
保健体育	HPE	health and physical education	教育学部
高度教職実践科目	TPF	teaching professionals	教育学研究科
公衆衛生看護学	PHN	public health nursing	医学部
養護学	SHN	school health nursing	医学部
分析方法論系科目	ANM	analytical methodology	地域マネジメント研究科
地域公共系科目	RPA	regional public administration	地域マネジメント研究科
地域公共系・経営系の融合科目	RCM	region & management	地域マネジメント研究科
その他	OTH	other	

看護学専攻 (博士前期課程)

大学院医学系研究科看護学専攻（博士前期課程）

目 次

1	組織構成	28
2	専門領域および授業科目の概要	28
3	履修方法等	30
4	学位の授与	30
5	2024年度 行事予定	31
6	2024年度授業科目および担当教員	32
7	ディプロマ・ポリシー(DP)とシラバスのナンバリングコードについて	35
8	看護学専攻（博士前期課程）シラバスについて	36
9	修士論文の作成と提出	
1)	修士論文作成プロセス	37
2)	修士論文作成の要領	38
3)	提出書類・その他	41
4)	学位論文の製本表紙の作成要領	43
10	修士論文中間発表会実施要領	44
11	修士論文に係る医学部倫理委員会申請	44
12	学生生活支援について	45
13	時間割等	47

大学院医学系研究科看護学専攻(博士前期課程)

1. 組織構成

看護学専攻（博士前期課程）は、基礎教育課程での教育研究を基盤とし、大学全体で蓄積した教育研究資源と大学が立地する地域を活用した教育研究を基盤として、看護学の専門性を深めるために、3コース、5分野を設置しています。

看護学専攻のコース及び分野・専門領域

コース	分野	専門領域
看護学	基礎看護学	看護医科学
		基礎看護学
	臨床看護学	急性期成人看護学
		慢性期成人看護学
		小児看護学
		母性看護学
		老年看護学
	地域看護学	精神看護学
		在宅看護学
		地域看護学
助産学	助産学	助産学
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学

2. 専門領域および授業科目の概要

1) 専門領域

看護学コース

基礎看護学分野

看護医科学、基礎看護学の領域について教育を行います。最今、Evidence-based Nursing (EBN)が提唱され、看護の知識や技術に関する科学的な実証が不可欠となっています。基礎看護分野ではEBNの実践に必要な知識や技術の習得を目指します。

(1) 看護医科学領域

看護医科学においては、看護や介護における医学的な疑問点を、科学的に探求し、その

原因や解決法を見いだすための研究を行います。具体的にはアンケート調査や実験研究を中心とした講義、演習、研究を行います。

(2) 基礎看護学領域

基礎看護学は、人間・環境・健康との関わりの中で看護に関する課題を明確化し、課題解決に向けて科学的に探究する方法を学びます。看護に関わる先端技術やケアシステムの開発、生活習慣病などの病いとともに生きる人のセルフケア支援など幅広く関心のある看護のテーマについて探究します。

臨床看護学分野

急性期成人看護学、慢性期成人看護学、小児看護学、母性看護学及び老年看護学の領域について教育を行います。学部教育で得られた知識、技術及び深い倫理感を持って、さらに複雑な患者の状態、患者を取り巻く環境を客観的に分析、検討し、倫理と実践の関係を学習します。

(3) 急性期成人看護学領域

急性期成人看護学では健康危機の状況下やリハビリテーションの必要な対象者に適切な看護支援を提供するための基本となる知識・技術・態度について学びます。また、健康危機とそこからの回復を支援するため、成人看護領域に関する文献クリティークを行い、研究課題を明確化し、科学的プロセスに沿って、対象理解と効果的な看護実践を探求します。

(4) 慢性期成人看護学領域

慢性期成人看護学では、慢性病と共に生きる人に対する理解を深め、その人らしい生活を支援する看護について探求します。研究指導では、一連の研究プロセスを通して課題解決のための研究遂行能力を高められるよう指導します。特に、糖尿病・生活習慣病のケア・ケアシステムの開発、健康行動を支援する自己管理用のセルフモニタリングデバイスやアプリ、テレナーシングなど先進的技術やICTを慢性期看護へ活用するための研究を行います。

(5) 小児看護学領域

現代社会における小児と家族の問題について、医療、保健、福祉、教育などの側面から関連する学問分野の諸理論と看護への活用方法を学びます。さらに小児保健、母子保健などの観点から小児看護を検討します。また、小児と家族に関する国内外の文献および研究論文をクリティークし、各自の研究課題を通して臨床での課題に効果的な支援を探究します。

(6) 母性看護学領域

女性の生涯を通じたりプロダクティブヘルス/ライツの視点から、生理的、心理・社会的な課題について、探求する能力を養います。具体的には、女性のライフサイクルにおける健康問題や臨床場面の問題について関連する理論を用いて分析し、自らの研究課題を明確にすることによって、女性とその家族の健康支援への貢献を目指して研究をすすめていきます。

(7) 老年看護学領域

老年看護学領域における看護実践において、対象者自身の生活および生命の質が重要となります。老年期にある対象者の看護を行う上で必要な理論や実践について学習し、さらに、疾患や障害の発症を対象者自身において人生の中の転機とし、自らの人生の中で意味づけ、機能し、発達するための援助について探求します。

地域看護学分野

精神看護学、在宅看護学、地域看護学の領域について教育を行います。「病院完結型」から「地域完結型」医療への変化・対応が求められる昨今、住民の健康づくりや、病気と共存しながらQOLの維持・向上を目指し、住み慣れた地域や住まいでの生活を支える専門的知識を学修し、研究および実践のあり方を探求します。

(8) 精神看護学領域

精神の健康障害をもつ人々への、就労や生活を支えるケア体制の充実が求められています。あらゆる発達段階にある当事者や家族へ

の看護課題に対して、理論の学修及び文献検討を通じて、各自のテーマを研究的に解決する研究遂行力を養います。特に、医療と福祉をつなぐ多職種連携によるケアシステムや、AI時代を迎える次世代を志向した精神看護学のあり方についても探究します。

(9) 在宅看護学領域

在宅看護学に関連する理論モデルを学習し、在宅で暮らしている人々がより良い健康を保ち、その人らしい生活を送ることができるよう支援する能力を養います。在宅看護に関する諸制度と在宅ケアシステムを理解し、多様な職種と共に在宅療養者を支援するために、効果的な看護を探求します。講義や演習を通して、在宅看護に関する研究課題を見出し、研究計画を立て、自身の研究課題に沿った研究過程を体験します。

(10) 地域看護学領域

地域で生活するあらゆる人々を対象とし、その人らしい暮らしを支える健康の維持・向上を目標とした公衆衛生看護活動の在り方を検討します。具体的には、自身の実践を振り返り、課題を見出し、それを研究的に解決するための方法を検討します。また、各自の研究活動を通して公衆衛生看護実践における倫理観を高めると共に、課題解決過程で思考するための能力向上を図ります。

助産学コース

女性と家族の生涯にわたる健康支援をめざし、専門的知識に裏付けされた高度助産実践能力と周産期医療における高い倫理的感能力、およびマネジメント能力と研究教育力を備えた助産師を養成します。また、周産期医療分野のニーズと助産ケアの課題を適切に捉え、科学的な分析・研究能力を遂行する能力を養い、助産ケアについて探求します。

公衆衛生看護学コース

広く社会の公衆衛生向上に役立つ科学的根拠を活用もしくは産出できる研究能力を備え、複雑困難化する健康課題を解決し施策化できる高い実践能力を備えた保健師を育成します。

防災士資格をもつ保健師として災害等の健康危機管理や、胎生期からの生活習慣病予防活動を展開する能力を修得し課題を採求します。

2) 基盤科目

本学の目指す高度職業実践者として必要なケア実践能力、管理的能力及び看護を提供する場を改革するための研究方法に関する能力を修得するために、基盤科目として、理論看護学、看護倫理学、看護研究方法論1、看護研究方法論2、看護教育学、看護管理学、臨床科学、国際看護学特論、養護教育特論の9科目を開設しています。

各分野の授業科目と併せて学習することにより、効果的な学びが期待できます。

3. 履修方法等

1) 修業年限

修業年限は、2年を基準とします。

2) 修了要件

看護学コースの大学院生は、次の区分により30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- i) 基盤科目5科目10単位以上
- ii) 専門科目のうち同一領域の特論・演習6単位
- iii) 専門科目のうちii)の科目以外の特論を2科目4単位
- iv) 研究科目10単位
- v) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする。

助産学コースの大学院生は、上記i)～iv)に加え、専門科目(助産学)31単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
※看護学コース及び公衆衛生看護学コースの学生は、専門科目(助産学)を履修できませ

ん。

公衆衛生看護学コースの大学院生は、上記i)～iv)に加え、専門科目(公衆衛生看護学)31単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

※看護学コース及び助産学コースの学生は、専門科目(公衆衛生看護学)を履修できません。

3) 単位修得評価

成績評価は、次の基準で行います。

- | | |
|----|---------|
| 秀 | : 90点以上 |
| 優 | : 80点以上 |
| 良 | : 70点以上 |
| 可 | : 60点以上 |
| 不可 | : 60点未満 |

4) 香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(博士前期課程)における入学以前既修得単位認定について

入学前既修得単位の認定に関しては、別途定めます(「学則・規程」)。

4. 学位の授与

学位は、修士(看護学)とします。修士の学位は、大学院(博士前期課程)に2年以上在籍し、授業科目について看護学コースでは30単位以上、助産学コース及び公衆衛生看護学コースでは61単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を1年以上とすることがあります。

5. 2024年度行事予定

	月 日(曜日)	行事予定	対 象 者
前期	4月3日(水)	入学式	
	6月3日(月)～7日(金)	学位論文題目届受付(学務課へ)(注)	9月修了生
	7月1日(月)～5日(金)	予備審査論文提出(正午12:00までに学務課へ)	9月修了生
	7月8日(月)～12日(金)	予備論文審査期間	9月修了生
	8月1日(木)夕方	修士論文公開審査準備	9月修了生
	8月2日(金)	修士論文公開審査	9月修了生
	8月8日(木)	予備日(修士論文公開審査)	9月修了生
	8月19日(月)～23日(金)	審査報告書提出	9月修了生
	8月22日(木)	大学院入試(前期日程)	
	8月28日(水)	学位論文提出(正午12:00までに学務課へ)	9月修了生
	9月末 (詳細な日時は8月頃に決定)	学位授与・修了式	9月修了生
後期	11月11日(月)～15日(金)	学位論文題目届受付(学務課へ)(注)	3月修了生
	12月9日(月)～13日(金)	予備審査論文提出(正午12:00までに学務課へ)	3月修了生
	1月6日(月)～10日(金)	予備論文審査期間	3月修了生
	1月31日(金)夕方	修士論文公開審査準備	3月修了生
	2月1日(土)	修士論文公開審査	3月修了生
	2月3日(月)～10日(月)	審査報告書提出	3月修了生
	2月6日(木)	大学院入試(後期日程)	
	2月19日(水)	学位論文提出(正午12:00までに学務課へ)	3月修了生
	3月10日(月)	修了日	
	3月24日(月)	学位授与・修了式	3月修了生

(注)学務課受付時間 8:30～17:00

修士論文中間発表会は「10. 修士論文中間発表会実施要領」の項を参照。

6. 2024 年度 授業科目および担当教員

区分	授業科目	履修年次	単位	担当教員	
基盤科目	理論看護学*	1・2	2	基礎看護学教授、西村 亜希子、金正 貴美	
	看護倫理学*	1・2	2	松本 啓子、山本 美輪、川本 美香、谷本 公重	
	看護研究方法論 1*	1・2	2	谷本 公重、山本 美輪、渡邊 久美、西村 亜希子	
	看護研究方法論 2*	1・2	2	市原 多香子、芳我 ちより、宮武 伸行	
	看護教育学	1・2	2	芳我 ちより、渡邊 久美、石井 有美子	
	看護管理学	1・2	2	川田 紀美子、基礎看護学教授	
	臨床科学	1・2	2	藤井 豊、塩田 敦子、加藤 育子	
	国際看護学特論	1・2	2	山本 美輪、谷本 公重、川田 紀美子	
	養護教育特論	1・2	2	石井 有美子	
専門科目	看護医科学特論	1	2	藤井 豊、塩田 敦子、加藤 育子	
	基礎看護学特論	1	2	基礎看護学教授	
	急性期成人看護学特論	1	2	市原 多香子	
	慢性期成人看護学特論	1	2	西村 亜希子	
	小児看護学特論	1	2	谷本 公重、石井 有美子	
	母性看護学特論	1	2	川田 紀美子、野原 留美	
	老年看護学特論	1	2	山本 美輪	
	精神看護学特論	1	2	渡邊 久美	
	在宅看護学特論	1	2	松本 啓子	
	地域看護学特論	1	2	芳我 ちより、川本 美香	
	看護医科学演習	1	4	藤井 豊、塩田 敦子、加藤 育子	
	基礎看護学演習	1	4	基礎看護学教授	
	急性期成人看護学演習	1	4	市原 多香子	
	慢性期成人看護学演習	1	4	西村 亜希子	
	小児看護学演習	1	4	谷本 公重、石井 有美子	
	母性看護学演習	1	4	川田 紀美子、野原 留美	
	老年看護学演習	1	4	山本 美輪	
	精神看護学演習	1	4	渡邊 久美	
	在宅看護学演習	1	4	松本 啓子	
地域看護学演習	1	4	芳我 ちより、川本 美香		
専門科目(助産学)	基礎助産学	助産学特論Ⅰ(助産学概論)	1	1	野原 留美
		助産学特論Ⅱ(リプロダクティブヘルスと権利)	1	1	野原 留美、原田 さゆり
		助産学特論Ⅲ(周産期学婦人科学)	1	2	塩田 敦子、金西 賢治、田中 宏和、鶴田 智彦、星野 克明、野原 留美
		助産学特論Ⅳ(胎児学・新生児乳幼児学)	1	1	日下 隆、三木 崇範、小谷野 耕佑、野原 留美

		助産学特論V (薬理・臨床検査学)	1	1	金西 賢治、田中 宏和、塩田 敦子、加藤 育子、 河田 興、野原 留美
専門科目 (助産学)	助産診断 ・ 技術学	助産診断学Ⅰ(妊娠期)	1	1	野原 留美、原田 さゆり
		助産診断学Ⅱ(分娩期)	1	1	野原 留美、原田 さゆり
		助産診断学Ⅲ(産褥期、新生児・乳幼児)	1	1	野原 留美、谷本 公重、原田 さゆり
		周産期ハイリスクケア	1	1	塩田 敦子、田中 宏和、花岡 有為子、中村 信嗣、森田 啓督、多田 絵理、西条 順子、野原 留美
		助産診断学演習Ⅰ(妊娠期)	1	2	野原 留美、原田 さゆり、真砂 友理
		助産診断学演習Ⅱ (分娩期・産褥期)	1	3	野原 留美、原田 さゆり
		助産診断学演習Ⅲ (新生児・乳幼児)	1	1	野原 留美、原田 さゆり
	子地域 保健母	地域母子保健学特論	1	2	野原 留美、芳我 ちより、川本 美香、原田 さゆり
	助産管理	助産業務管理学特論	1	1	野原 留美、原田 さゆり、塩田 敦子、宮崎 直美、榎野 久美子、佐々塚 恵美、神内 深雪
		医療福祉経営論	1	1	野原 留美、橋本 忠行、野口 修司、長谷 綾子
	助産学実習	助産学実習Ⅰ	1	1	野原 留美、原田 さゆり
		助産学実習Ⅱ	1	8	野原 留美、原田 さゆり
		助産学実習Ⅲ(助産管理)	1	1	野原 留美、原田 さゆり
		地域母子保健学実習	2	1	野原 留美、原田 さゆり
	専門科目 (公衆衛生看護学)	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論Ⅰ (概論)	1	2
公衆衛生看護学特論Ⅱ (技術論)			1	2	川本 美香、芳我 ちより
公衆衛生看護学特論Ⅲ (活動論)			1	2	川本 美香、芳我 ちより、渡邊 久美
生活習慣病予防看護技術特論			1	2	芳我 ちより、市原 多香子、宮武 伸行、 西村 亜希子
健康生成活動特論			1	2	芳我 ちより、三木 崇範、日下 隆、 南野 哲男、宮武 伸行
公衆衛生看護管理特論			1	2	芳我 ちより、川本 美香
公衆衛生看護管理演習			1	2	芳我 ちより、川本 美香
公衆衛生看護倫理特論			1	2	芳我 ちより、川本 美香、※相原 洋子
健康危機管理特論			1	2	芳我 ちより、長谷川 修一、三好 正明、 野々村 敦子、磯打 千雅子、黒田 泰弘、 井面 仁志、寺尾 徹

	疫学	疫学特論	1	2	藤井 豊
	統計学 保健	実践統計特論	1	2	芳我 ちより、※日高 優
	保健医療福祉 行政論	保健医療福祉行政特論	1	2	芳我 ちより、川本 美香、※横山 勝教、※星川 洋一
		保健医療福祉行政演習	1	2	芳我 ちより、川本 美香
	看護学実習 公衆衛生	地域健康生活支援実習	1	2	芳我 ちより、川本 美香、林 信平
		公衆衛生看護学実習	2	3	芳我 ちより、川本 美香、林 信平
研究科目	特別研究	2	10	各指導教員	

* 受講推奨科目 ※ 学外の非常勤講師

看護学コースの学生は、専門科目（助産学・公衆衛生看護学）を履修できません。

7. ディプロマ・ポリシー (DP) とシラバスのナンバリングコードについて

シラバスは、授業を選択する前の学生に、授業の内容、目的・目標、授業計画及び成績評価の方法と基準等を示す情報源です。各研究科では、教育理念に基づき、どのような力を身に付けたものに修了を認定し、学位を授与するのかわを示すディプロマ・ポリシー (DP) を定め、これを実現するための体系的な教育を行っています。シラバスは、その DP を実際の授業を通して実現していく指針を示す役割を果たしています。

本学のシラバスでは、どのような内容の授業を、誰が誰に、どのように提供しているか、という観点から学修の段階や順序等を表すためのナンバリングを行っています。ナンバリングは下表の 8 要素から構成されます。

ナンバリングコードの種類	説明
水準	その授業が教育課程上どの位置付けにあるかを、大文字アルファベット 1 桁と数字 1 桁の組合せで表示している。 M: 修士課程 (相当)、D: 博士課程 1: 入門科目 2: 基礎科目 3: 応用科目 4: 統合科目
分野	NRS (看護学)
ディプロマ・ポリシー (DP)	その授業が重要な役割を示すと考えられる DP の構成要素を示すアルファベットを重要なものから順に 3 つまで表示している。該当する DP が 2 つ以下の場合、残った部分に X を表示している。 A. 看護専門領域において高度で実践的な専門的知識および理論を活用できる能力 B. 看護現象について科学的思考を用いて課題解決するための研究能力 C. 高い倫理的感受性を持った上で解決困難な看護現象を解明できる能力 D. グローバルな視点で保健医療福祉及び社会の変化に柔軟に対応できる能力 X: 該当なし
提供部局	M: 医学部・医学系研究科
対象学生	その授業科目の対象となる学生を数字 1 桁で表示している。 1: 全学生 2: 提供部局に所属する学生のみ 3: 提供部局に所属する学生+受講を希望する学部学生 4: 提供部局に所属する大学院生+受講を希望する大学院生 5: 特定プログラムを履修している学生のみ 6: 夜間主コースに所属する学生のみ
特定プログラムとの対応	その授業科目が高度教養教育科目 (学部提供教養科目) やネクストプログラム関連科目と対応しているかを、大文字アルファベット 1 桁で表示している。 A: 高度教養教育科目 (学部提供教養科目) N: ネクストプログラム関連科目

	M：高度教養教育科目（学部提供教養科目）及び ネクストプログラム関連科目 0：対応なし
授業形態	その授業科目をどのような方法で実施するかを、以下の項目から 大文字アルファベット 1 ケタと小文字アルファベット 1 ケタを組 み合わせて表示している。 L：講義 E：演習 P：実験・実習 M：講義＋実験・実習（医学科及び医学系研究科のみ） g：グループワーク p：PBL f：フィールドワーク e：eラーニング b：ブレンディッドラーニング（反転学習等） x：該当なし
単位数	その授業科目を履修することで取得できる単位数を数字で表示し ている。

8. 看護学専攻（博士前期課程）シラバスについて

【香川大学シラバス検索画面】

香川大学 HP からアクセスしてください。

ホーム＞学生生活・就職＞授業、履修＞シラバス

シラバス検索画面 URL

<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/about-class/syllabus/>

シラバス検索画面 QR コード



9. 修士論文の作成と提出

1) 修士論文作成プロセス

(1) 学位論文題目届受付

学位論文題目届受付期間中8時30分から17時までの間に、学位論文題目届（様式501）を学務課大学院担当に提出する。

(2) 予備審査論文受付

予備審査論文受付期間中に、以下を添えて学務課大学院担当に提出する。

- ・学位論文審査願（様式502） 1部
- ・学位論文（審査用最終論文表紙をつける）（様式506） 3部
- ・学位論文の内容の要旨（様式503） 4部
- ・論文目録（様式504） 4部

（参考文献は修士論文作成に参考にした申請者自身による論文がある場合に記入、ない場合は参考文献なしと記入）

- ・履歴書（様式505） 4部

(3) 予備審査

指定期間中に、申請者は審査委員（主査及び副主査）による予備審査を受ける。審査期間に申請者は公開審査に備え、論文の質向上に努めること。なお、修正した論文はこの時点では学務課大学院担当に提出する必要はなく、審査委員（主査及び副主査）にのみ提出すればよい。

*論文題目に変更がある場合は、学位論文題目変更届（様式510）を学務課大学院担当まで提出すること。

(4) 修士論文公開審査

公開審査用資料は修士論文要旨とする。この資料は、守秘義務の遵守を図るため、発表者に返還される。発表用スライドはPower Point(パワーポイント)を使用して作成する（課程担当教員用に、配布資料としてスライドを印刷する）。

(5) 修正した修士論文に様式506を付けて、指定期限までに主査に3部提出する。

*論文題目に変更がある場合は、学位論文題目変更届（様式510）を提出する。

(6) 学位論文提出

公開審査終了後、主査からの審査報告に基づき作成された最終の学位論文を受付期間の最終日正午12時までに学務課大学院担当に1部（大学保存用）提出する。

*提出論文は表紙をつけてファイル等に綴じて提出すること。

*この時、学位論文表紙（様式507）をつけること。

(7) 学位授与決定（9月中旬および3月中旬の医学系研究科教授会）

(8) 学位授与 学位記授与式（三木町医学部キャンパス（9月）、幸町キャンパス（3月））

(9) 製本された報告用学位論文（学位論文表紙（様式507）をつけたもの）を学位授与式前日までに、1部、学務課に提出する。この時、学位論文提出期間までに提出された論文と引

き換える。

2) 修士論文作成の要領

- (1) 原稿は、Word（ワード）などのワープロソフトを用いて作成する。
- (2) 原稿は、新仮名づかいを用い、原則として常用漢字とする。句読点は、「，．」を用いる。
- (3) 単位は、原則として国際単位系（SI）とする。特殊な単位を用いるときは、簡単な説明を加える。
- (4) 外国の固有名詞（人名、地名など）は、原語のまま、またはカタカナ表記とする。
- (5) 略語は、論文にしばしば繰り返される語について差し支えないが、初出の時には、完全な用語を用い、その後略語を用いることを明記する。
- (6) 論文には、内容が理解できるように1200字程度の要旨をつけ、3～5個のキーワードをつける。
- (7) 論文の構成は、原則として次のようにする。項目分けは、I、1、1）、(1)、①の区分とする。

【論文構成】以下を基準とする

表紙 …… 様式506、507用紙使用

要旨、キーワード

目次

I. 序論

II. 文献レビュー

III. 目的

IV. 方法

V. 結果

VI. 考察

VII. 提言

VIII. 研究の限界

IX. 結論

謝辞

引用文献

図・表

資料（調査用紙、その他）

- (8) 図・表は、図の下に図1、表の上に表1などの番号をつける。
- (9) 文献については、本文中に著者名、発行年次を括弧表示する。なお、[翻訳書]を引用する場合で、それを本文中に表示する場合は、原著者名（原書の発行年次／訳書の発行年

次) と表示する。

文献は著者名のアルファベット順に列記する。ただし、共著者は3名まで表記する。
外国人著者の名前は、「姓(フルスペル), 名(イニシャル).」で記載する。

例) Benner, P. Orem, D. E.

文献の記載方法は下記に従う。

[雑誌掲載論文]

・著者名(発行年次) : 論文の表題, 掲載雑誌名, 号もしくは巻(号), 最初のページ数-最後のページ数.

※日本語雑誌名は医中誌略誌名(医学中央雑誌刊行会)に、国際雑誌名はIndex Medicus(アメリカ国立医学図書館)のタイトル略記(NLM Title Abbreviation)の所載に従う。
ただし、両データベースに収録されていない場合は、雑誌のフルタイトルを表記する。

例) 香川花子, 三木太郎, 高松幸子, 他(2023) : 冠状動脈バイパス術を受ける患者の援助プログラムの開発に関する研究, ○○大学看護学雑誌, 5(1), 36-44.

Adams, E., Wilson, A. and Harrison, D.C. (2023): Development of baccalaureate nursing education programs, *Nursing Education*, 8(10), 524-530.

[単行本]

・著者名(発行年次) : 書名(版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

例) 香川花子(2023) : 糖尿病患者の患者指導マニュアル(第2版), 4-20, ○○書院, 東京.

・著者名(発行年次) : 論文の表題, 編者名, 書名(版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

例) 高松幸子(2023) : 地域住民の健康支援システムの理論的背景, 香川花子編, 保健活動の実践と理論(第3版), 44-62, ○○社, 東京.

[翻訳書]

・原著者名(原書の発行年次) / 訳者名(翻訳書の発行年次) : 翻訳書の書名(版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

例) Johnson, M.(2022)/香川花子監訳(2023) : 看護研究(第2版), 115-116, ○○書院, 東京.

[オンライン版で, DOIのない場合]

・著者名(年号) : 論文タイトル, 収載誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ, URL

例) Tanihara, S. (2023): The proportion of uncoded diagnoses in computerized health insurance claims in Japan in May 2010 according to ICD-10 disease categories, *Journal of Epidemiology*, 24, 392-396, <https://www....>

[オンライン版で, DOIのある場合]

・著者名(年号) : 論文タイトル, 収載誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ, doi : DOI

番号

例) Tanihara, S. (2023): The proportion of uncoded diagnoses in computerized health insurance claims in Japan in May 2010 according to ICD-10 disease categories, *Journal of Epidemiology*, 24, 392-396, doi: 10.2188/jea.JE20130194

[Webページなど、逐次的な更新が前提となっているコンテンツを引用する場合]

※出版データのあとにカッコで括って閲覧日を記載する。

著者名（発行年）：表題，アドレス（閲覧日：XXXX年XX月XX日）

例) 厚生労働省（2023）：令和4年度保健師活動領域調査（領域調査）の結果について，http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/hoken/katsudou/09/ryouikichousa_r4.html（閲覧日：2023年4月1日）

同一著者の、あるいは同一配列の共著の文献がある場合は、早い刊行年のものから順に並べる。同一年に刊行された文献表記が同一となる場合、刊行年のあとに、アルファベット小文字a、b…を付して区別する。

例) 厚生労働省. (2023a) :

厚生労働省. (2023b) :

上記以外は、APAスタイルに則って記載すること。

(10) 論文の書式は、以下のとおりとする。

- ① A 4 版紙縦書きとし、左35mm、右20mm、上30mm、下30mmの余白をとり、横書きで作成する。
- ② 本文の字体は、和文は明朝体 11 ポイント、英文はTimes New Romanを標準とし、35 字×36行で打ち出す。
- ③ 論文は、表紙、要旨、目次、本文、付録（図表、資料）の順に添付し、製本する。
なお、図表および資料については、本文の最後に各々一括して編集し、添付する。
- ④ 本文（序論から引用した文献まで）の頁（ページ）の記載については、序論から引用文献の最後頁まで、- 1 - - 2 - - n - のようにつける。
- ⑤ 資料（図表・同意書・依頼書・調査用紙）には、本文と区別し、- i - - ii - - iii - の頁番号をつける。それらの記入場所は、下中央とする。

3) 提出書類・その他

用紙は医学部ホームページ（医学系研究科）よりダウンロードし、以下の様式に沿って各自作成する。

(様式 501)

学位論文題目届	
令和 年 月 日	
医学系研究科長 殿	指導教員表封印 <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>
看護学 専攻 _____ 分野	
学籍番号 _____	
ふりがな 氏 名 _____ @	
下記のとおり学位論文題目をお届けします。	
記	
学位論文題目	

(様式 502)

令和 年 月 日	
香川大学長 殿	
看護学専攻 _____ 分野	
学籍番号 _____	
氏 名 _____ @	
学位論文審査願	
香川大学学位規則第7条第1項の規定に基づき、下記の書類を提出いたしますので御審査願います。	
記	
1 学位論文	3 部
2 学位論文の内容の要旨	4 部
3 論文目録	4 部
4 履 歴 書	4 部
備考 1 学位論文は、表紙を付けたものを3部提出すること。 2 参考論文がある場合は、各3部添付すること。 3 論文目録及び履歴書は、それぞれ原本1部及び写し3部を提出すること。	

(様式 503)

*			
整理番号	香大医修 第	号	
学位論文の内容の要旨			
専 攻	看 護 学	分 野	
学籍番号		氏 名	
論文題目			
(論文要旨)			
(備考) 論文要旨は、日本語で800字以内にまとめてください。			

(様式 504)

報告番号	香大医修 第	号
論 文 目 録		
専 攻	分 野	
学籍番号	氏 名	
学位論文		
1 題 目		
「○○○○○・・・・・・・・」		
2 参考文献		
参考論文1		
題目「○○○○○・・・・・・・・」		
参考論文2		
題目「○○○○○・・・・・・・・」		
令和 年 月 日		
学位申請者 氏名 _____ @		
(注) 1 論文題目が外国語の場合、日本語訳を括弧書きで付記してください。 2 4部（原本1部、写し3部を含む。）提出してください。 3 学位申請者氏名は必ず自署してください。		

(様式 505)

整理番号	香大医修 第	号
履 歴 書		
(ふりがな) 氏 名 生年月日	や し ま は な こ 屋 島 花 子 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生	男・女
現 住 所	香川県木田郡三木町池戸1750-1	本 籍 香 川 都 道 香 川 府 県
<p style="text-align: center;">学 歴</p> <p>昭和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇高等学校卒業 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇大学〇〇学部卒業 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程入学</p> <p style="text-align: center;">職歴及び研究歴</p> <p>昭和〇〇年〇〇月〇〇日 香川大学医学部附属病院看護部看護師に採用</p> <p style="text-align: center;">上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: center;">氏名 _____ 印</p>		
<p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 年月日は、申請日（論文提出日）としてください。 2 学歴は高等学校卒業以降、年次を追って記載してください。 3 職歴及び研究歴は、一つにまとめて記載してください。 4 学位論文提出時には4部（写し3部を含む。）提出してください。 5 学位申請者氏名は必ず自署してください。 		

(様式 506) 審査用最終論文表紙

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文

題 目 (20P)

〔 和 文 〕
〔 英 文 〕

学籍番号 _____

氏 名 _____ 15P

指導教員承認印

審査用論文の表紙として使用する
 上余白 30mm 下余白 30mm
 左余白 35mm 右余白 26mm

(様式 507) 学位論文表紙

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文

題 目 (20P)

〔 和 文 〕
〔 英 文 〕

学籍番号 _____

氏 名 _____ 15P

(様式 510) 学位論文題目変更届

令和 年 月 日

医学系研究科長 殿

指導教員承認印

看護学 専攻 _____ 分野

学籍番号 _____

ふりがな _____ 印
氏 名 _____

学位論文題目変更届

学位論文審査の結果、学位論文題目に変更が生じました。
つきましては、下記のとおり題目を変更したいので、お届けいたします。

記

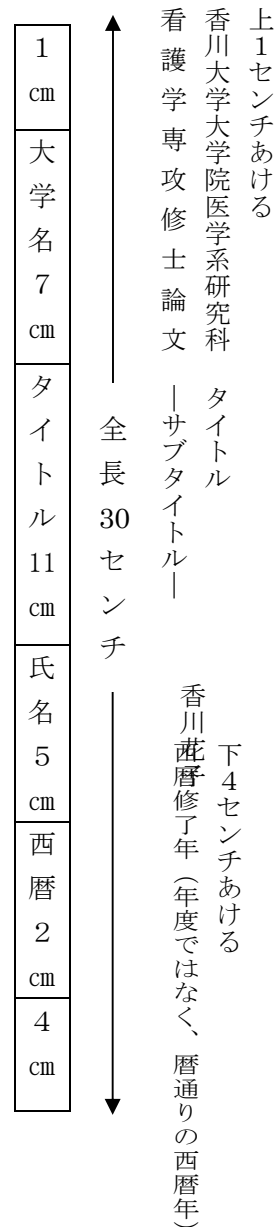
【変更前】

【変更後】

4) 学位論文の製本表紙の作成要領

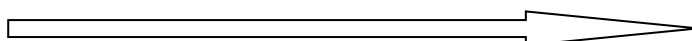
(1) 修士論文の表紙は黒色系のカバーを用い、表紙と背表紙に課題名、年及び氏名を金文字で印刷すること。なお、ソフトカバー・ハードカバーどちらでも構わない。

背表紙	香川大学大学院医学系研究科看護学専攻修士論文
(3.を参照)	和文タイトル 英文タイトル
	令和 年 月
	氏 名



(2) 大学保存 1冊
 指導教員・副主査 各1冊
 本人 必要冊

(3) 背表紙 (作成例)



(4) 依頼業者は自由だが、体裁は、出来るだけ統一することが望ましい。

(5) 経費は自費とする。

(6) 提出日・提出場所

大学保存版は3月修了者・9月修了者ともに、学位授与式前日までに、医学部学務課大学院担当に提出する。この時に簡易製本の冊子と差し替える。

10. 修士論文中間発表会実施要領

1) 中間発表会発表題目届

中間発表会は、原則、毎月（8月、12月を除く）最終水曜日に開催される。前週の月曜日（17時）までに、中間発表題目届を医学部ホームページ（医学系研究科）よりダウンロードして、学務課大学院担当に提出する。

2) 修士論文中間発表会

中間発表会は、学生を担当する研究指導教員の主導のもと実施される。発表者は、先着順で5名を上限とする。開催通知は、学務課大学院担当から看護学専攻の学生および看護学科教員全員に行われる。

(1) 会場及び時間帯

会場は原則 209、301、305 教室のいずれかとし、開始は原則 18 時 00 分からとする（発表者が社会人のみの場合、18 時 30 分からの開始とする）。(2) 発表者資料作成

発表資料(医学部ホームページ【中間発表会 様式】にある中間発表会抄録フォーマットおよび中間発表パワーポイント原稿の使用)は任意とする。配布された資料は、守秘義務の遵守を図るため、発表者に返還される。

医学部ホームページ（医学系研究科）学位審査等書式

<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/articles/000/000/414/>

【QRコード】



11. 修士論文に係る医学部倫理委員会申請

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程では、院生の研究課題に関して、上述の「中間発表会」において公開指導を受けること、加えて、医学部倫理委員会に倫理審査申請をおこない、承認を得ることを指導している。計画的に研究を実施すること。

12. 学生生活支援について

1 入学料の免除

入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、また本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合などの特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められた者については、願い出により選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがある。

なお、前述及び経済的理由により納付期限（入学手続期間）までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者については、願い出により選考の上、入学料を指定された期日まで徴収を猶予することがある。

2 授業料免除

学業優秀と認められる者で、上記と同様な理由により、授業料を所定の期日までに納入することが困難な者は、願い出により選考の上、その期の授業料の全額又は半額を免除することがある。

3 独立行政法人日本学生支援機構（育英奨学事業）

人物、学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者に対して、選考の上、日本学生支援機構奨学規程に基づいて、次の奨学金が貸与される。

種 別	貸与月額
第一種奨学金（無利子）	50,000 円又は 88,000 円
第二種奨学金（有利子）	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の5種類から選択

4 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

大学に学ぶ学生が被る種々の正課中及び課外活動中及び通学中の災害に対する被害救済の措置を目的とした制度。正課中及び課外活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故や、住居と学校施設等との間の通学、学校施設間相互の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われる。

本学では、この保険制度を採用し、入学者全員加入とし、各自で保険加入手続きを行うよう指導している。

5 損害保険

ア 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）について

この保険は、正課、学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合の、法律上の損害賠償を補償するための必要最小限の保険である。

イ 学研災付帯学生生活保険（付帯学総）について（助産学コースと公衆衛生看護学コースの学生は加入を強く推奨する）

学研賠では正課であることが補償の範囲となっているが、付帯学総は正課中に限らず、また学内外を問わず補償対象であり、病気に対する補償やアルバイト中の対人・対物補償、日常生活での補償や、扶養者が事故で亡くなったり、重度後遺症を被った場合の育英・学

資費用の補償など、幅広い賠償保険となっているため、加入を推奨している。

6 健康管理

学生、教職員の健康管理業務を専門的に取り扱うことを目的として、専任の医師、保健師の在籍する健康管理センター医学部分室を設置している。定期健康診断の他に、心身の健康や精神面の相談対応を行っている。具体的には、定期健康診断後の証明書発行や、簡単な応急処置・急病対応、カウンセラーによる相談を行っている。

7 学生生活相談

学務課（管理棟1階）の窓口において、修学上の問題、学内の施設案内等、どんな小さなことでも相談にのりますので、一人で思い悩むことなく、気軽に相談してください。

8 学会発表助成

国内及び海外における研究発表を行う場合の旅費の補助がある。

9 長期履修制度

職業を有している等の事情による者は、申し出により審査を行い認可された場合、3年を修業年限とする長期履修制度がある。

10 教育訓練給付制度指定

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）または一般被保険者であった者（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20%（支給要件期間が3年以上の者。ただし、初回に限り、1年以上の者。）に相当する額（上限10万円）をハローワーク（公共職業安定所）から支給する。

11 注意

連絡事項は看護学科教育研究棟1階の大学院生用掲示板で行う。

博士前期課程 助産学コース 授業時間割表

一年次前期

	I 時限 8:50~10:20	II 時限 10:30~12:00	III 時限 13:00~14:30	IV 時限 14:40~16:10	V 時限 16:20~17:50	VI 時限 18:30~20:00	VII 時限 20:10~21:40
月		(前半) 助産学特論 I (後半) 助産診断学 演習 I	(前半) 助産学特論 II (後半) 助産診断学 演習 I	(前半) 助産診断学 I	(前半) 助産診断学 II		
火	(前半) 助産学特論 III (後半) 助産学特論 III	(前半) 助産学特論 III (後半) 助産業務 管理学特論	(前半) 助産診断学 III (後半) 助産学 特論 V	助産診断学演習 II		母性看護学特論	
水		(後半) 助産学特論 III	(後半) 医療福祉 経営論				
木		(前半) 助産学特論 IV	(前半) 助産診断学 演習 II (後半) 助産診断学 演習 III	(前半) 助産診断学 演習 II (後半) 助産診断学 演習 III		(後半) 母性看護学 演習	
金		(後半) 周産期 ハイリスクケア	(後半) 周産期 ハイリスクケア				

看護学専攻
(博士前期課程)

教室は主に511および4階小児母性実習室で行う。講義日時は講師の都合等に変更する場合がある。
 この他に、看護学専攻の基礎科目を5科目以上、専門科目のうち母性看護学特論以外の2科目を履修する。

	I 時限 8:50~10:20	II 時限 10:30~12:00	III 時限 13:00~14:30	IV 時限 14:40~16:10	V 時限 16:20~17:50	VI 時限 18:30~20:00	VII 時限 20:10~21:40				
月	助産学実習 I・II・III (9月~12月)										
火						(後半) 医療福祉 経営論	(後半) 地域母子 保健学特論			(後半) 母性看護学 演習	
水										(後半) 母性看護学 演習	
木						(後半) 地域母子 保健学特論	(後半) 地域母子 保健学特論	(後半) 地域母子 保健学特論			
金										(後半) 母性看護学 演習	

各実習の詳細は直前に決定するため、追って通知する。

二年次前期

	I 時限 8:50~10:20	II 時限 10:30~12:00	III 時限 13:00~14:30	IV 時限 14:40~16:10	V 時限 16:20~17:50	VI 時限 18:30~20:00	VII 時限 20:10~21:40
月	助産院継続実習（4月～10月、不定期） 地域母子保健学実習（1週間） 特別研究						
火							
水							
木							
金							

二年次後期

	I 時限 8:50~10:20	II 時限 10:30~12:00	III 時限 13:00~14:30	IV 時限 14:40~16:10	V 時限 16:20~17:50	VI 時限 18:30~20:00	VII 時限 20:10~21:40
月	特別研究、修士論文発表会 助産師国家試験（2月）						
火							
水							
木							
金							

各実習の詳細は直前に決定するため、追って通知する。

博士前期課程 公衆衛生看護学コース 授業時間割表

1年前期

曜日	I 時限 8:50～10:20	II 時限 10:30～12:00	III 時限 13:00～14:30	IV 時限 14:40～16:10	V 時限 16:20～17:50
月			保健医療福祉行政特論 613		
			保健医療福祉行政演習 604実習室		
火			公衆衛生看護学特論 I (概論) 613		地域看護学演習 613
水			公衆衛生看護学特論 II (技術論) 613および604実習		
			公衆衛生看護学特論 III (活動論) 613および604実習		
木					
金			地域健康生活支援実習 (5月下旬から) 604実習室		

1年後期

曜日	I 時限 8:50～10:20	II 時限 10:30～12:00	III 時限 13:00～14:30	IV 時限 14:40～16:10	V 時限 16:20～17:50
月				健康危機管理論 ※10月開講 511	健康生成活動特論 511
火	公衆衛生看護管理特論 613		疫学特論 511		ゼミ
	公衆衛生看護管理演習 613				
水			※健康生成活動特論 月1回 pm2:00 FH meeting参加		
木	生活習慣病予防看護技術特論 511				
金			実践統計学特論 511		
			公衆衛生看護倫理特論		

2年前期

曜日	I 時限 8:50～10:20	II 時限 10:30～12:00	III 時限 13:00～14:30	IV 時限 14:40～16:10	V 時限 16:20～17:50
月					
火					特別研究ゼミ
水					
木	公衆衛生看護学実習（5月下旬から） 604実習室				
金					

※公衆衛生看護学実習が3週間分入ります。

2年後期

曜日	I 時限 8:50～10:20	II 時限 10:30～12:00	III 時限 13:00～14:30	IV 時限 14:40～16:10	V 時限 16:20～17:50
月					
火					特別研究ゼミ
水					
木					
金					

※2月 修士論文発表会、保健師国家試験

領域		基盤科目										専門科目								備考 講義担当者	
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	
4月25日(木)	20:10-21:40															●					川田
4月26日(金)	18:30-20:00																				
4月26日(金)	20:10-21:40																				
4月27日(土)	9:00-10:30																				
4月27日(土)	10:40-12:10																				
4月27日(土)	13:00-14:30																				
4月27日(土)	14:40-16:10																				
4月27日(土)	16:20-17:50																				
4月28日(日)	9:00-10:30																				
4月28日(日)	10:40-12:10																				
4月28日(日)	13:00-14:30																				
4月28日(日)	14:40-16:10																				
4月28日(日)	16:20-17:50																				
4月29日(月)	9:00-10:30																				
4月29日(月)	10:40-12:10																				
4月29日(月)	13:00-14:30																				
4月29日(月)	14:40-16:10																				
4月29日(月)	16:20-17:50																				
4月30日(火)	18:30-20:00																				
4月30日(火)	20:10-21:40																				
5月1日(水)	18:30-20:00			●																	市原
5月1日(水)	20:10-21:40			●																	市原
5月2日(木)	18:30-20:00																				
5月2日(木)	20:10-21:40																				
5月3日(金)	9:00-10:30																				
5月3日(金)	10:40-12:10																				
5月3日(金)	13:00-14:30																				
5月3日(金)	14:40-16:10																				
5月3日(金)	16:20-17:50																				
5月4日(土)	9:00-10:30																				
5月4日(土)	10:40-12:10																				
5月4日(土)	13:00-14:30																				
5月4日(土)	14:40-16:10																				
5月4日(土)	16:20-17:50																				
5月5日(日)	9:00-10:30																				
5月5日(日)	10:40-12:10																				
5月5日(日)	13:00-14:30																				
5月5日(日)	14:40-16:10																				
5月5日(日)	16:20-17:50																				
5月6日(月)	18:30-20:00																				
5月6日(月)	20:10-21:40																				
5月7日(火)	18:30-20:00			●																	宮武
5月7日(火)	20:10-21:40			●																	宮武
5月8日(水)	18:30-20:00	●																			前川, 金正
5月8日(水)	20:10-21:40	●																			前川, 金正
5月9日(木)	18:30-20:00		●																		谷本, 図書館司書⑥
5月9日(木)	20:10-21:40		●																		谷本⑦
5月10日(金)	18:30-20:00																				
5月10日(金)	20:10-21:40																				
5月11日(土)	9:00-10:30																				
5月11日(土)	10:40-12:10																				
5月11日(土)	13:00-14:30																				
5月11日(土)	14:40-16:10																				
5月11日(土)	16:20-17:50																				
5月12日(日)	9:00-10:30																				
5月12日(日)	10:40-12:10																				
5月12日(日)	13:00-14:30																				
5月12日(日)	14:40-16:10																				
5月12日(日)	16:20-17:50																				
5月13日(月)	18:30-20:00																				
5月13日(月)	20:10-21:40																				
5月14日(火)	18:30-20:00			●																	宮武
5月14日(火)	20:10-21:40			●																	宮武
5月15日(水)	18:30-20:00	●																			前川, 金正
5月15日(水)	20:10-21:40	●																			前川, 金正
5月16日(木)	18:30-20:00																				
5月16日(木)	20:10-21:40																				

領域		基盤科目										専門科目										備考	
月日	時間帯	科目名	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	講義担当者	
																							講義担当者
6月9日(日)	9:00-10:30																						
6月9日(日)	10:40-12:10																						
6月9日(日)	13:00-14:30																						
6月9日(日)	14:40-16:10																						
6月9日(日)	16:20-17:50																						
6月10日(月)	18:30-20:00						●															渡邊②	
6月10日(月)	20:10-21:40						●															渡邊②	
6月11日(火)	18:30-20:00					●																芳我	
6月11日(火)	20:10-21:40					●																芳我	
6月12日(水)	18:30-20:00	●																				金正, 前川	
6月12日(水)	20:10-21:40	●																				金正, 前川	
6月13日(木)	18:30-20:00		●																			山本	
6月13日(木)	20:10-21:40		●																			山本	
6月14日(金)	18:30-20:00			●																		渡邊	
6月14日(金)	20:10-21:40			●																		渡邊	
6月15日(土)	9:00-10:30																						
6月15日(土)	10:40-12:10																						
6月15日(土)	13:00-14:30																						
6月15日(土)	14:40-16:10																						
6月15日(土)	16:20-17:50																						
6月16日(日)	9:00-10:30																						
6月16日(日)	10:40-12:10																						
6月16日(日)	13:00-14:30																						
6月16日(日)	14:40-16:10																						
6月16日(日)	16:20-17:50																						
6月17日(月)	18:30-20:00						●															渡邊③	
6月17日(月)	20:10-21:40						●															渡邊③	
6月18日(火)	18:30-20:00																						
6月18日(火)	20:10-21:40																						
6月19日(水)	18:30-20:00																						
6月19日(水)	20:10-21:40																						
6月20日(木)	18:30-20:00		●																			地域准教授	
6月20日(木)	20:10-21:40		●																			地域准教授	
6月21日(金)	18:30-20:00																		●			渡邊	
6月21日(金)	20:10-21:40																						
6月22日(土)	9:00-10:30																						
6月22日(土)	10:40-12:10																						
6月22日(土)	13:00-14:30																						
6月22日(土)	14:40-16:10																						
6月22日(土)	16:20-17:50																						
6月23日(日)	9:00-10:30																						
6月23日(日)	10:40-12:10																						
6月23日(日)	13:00-14:30																						
6月23日(日)	14:40-16:10																						
6月23日(日)	16:20-17:50																						
6月24日(月)	18:30-20:00																			●		松本	
6月24日(月)	20:10-21:40																						
6月25日(火)	18:30-20:00																						
6月25日(火)	20:10-21:40																						
6月26日(水)	18:30-20:00	●																				金正, 前川	
6月26日(水)	20:10-21:40	●																				金正, 前川	
6月27日(木)	18:30-20:00		●																			山本, 菊池	
6月27日(木)	20:10-21:40		●																			山本, 菊池	
6月28日(金)	18:30-20:00			●																		渡邊	
6月28日(金)	20:10-21:40			●																		渡邊	
6月29日(土)	9:00-10:30																						
6月29日(土)	10:40-12:10																						
6月29日(土)	13:00-14:30																						
6月29日(土)	14:40-16:10									●													塩田①
6月29日(土)	16:20-17:50									●													塩田②
6月30日(日)	9:00-10:30									●													塩田③
6月30日(日)	10:40-12:10									●													塩田④
6月30日(日)	13:00-14:30									●													塩田⑤
6月30日(日)	14:40-16:10									●													
6月30日(日)	16:20-17:50									●													
7月1日(月)	18:30-20:00						●																基礎教授①
7月1日(月)	20:10-21:40						●																基礎教授①

領域		基盤科目										専門科目										備考 講義担当者	
月日	時間帯	科目名	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論		
7月2日(火)	18:30-20:00									●													山本
7月2日(火)	20:10-21:40																						
7月3日(水)	18:30-20:00	●																					西村(亜)
7月3日(水)	20:10-21:40	●																					西村(亜)
7月4日(木)	18:30-20:00												●										市原
7月4日(木)	20:10-21:40																	●					山本
7月5日(金)	18:30-20:00																●						谷本
7月5日(金)	20:10-21:40																						
7月6日(土)	9:00-10:30									●													加藤①
7月6日(土)	10:40-12:10									●													加藤②
7月6日(土)	13:00-14:30									●													加藤③
7月6日(土)	14:40-16:10																						
7月6日(土)	16:20-17:50																						
7月7日(日)	9:00-10:30									●													加藤④
7月7日(日)	10:40-12:10									●													加藤⑤
7月7日(日)	13:00-14:30																						
7月7日(日)	14:40-16:10																						
7月7日(日)	16:20-17:50																						
7月8日(月)	18:30-20:00					●																	基礎教授②
7月8日(月)	20:10-21:40					●																	基礎教授②
7月9日(火)	18:30-20:00													●									西村(亜)
7月9日(火)	20:10-21:40																						
7月10日(水)	18:30-20:00																						
7月10日(水)	20:10-21:40																						
7月11日(木)	18:30-20:00																						
7月11日(木)	20:10-21:40																						
7月12日(金)	18:30-20:00																						
7月12日(金)	20:10-21:40																						
7月13日(土)	9:00-10:30																						
7月13日(土)	10:40-12:10																						
7月13日(土)	13:00-14:30																						
7月13日(土)	14:40-16:10																						
7月13日(土)	16:20-17:50																						
7月14日(日)	9:00-10:30																						
7月14日(日)	10:40-12:10																						
7月14日(日)	13:00-14:30																						
7月14日(日)	14:40-16:10																						
7月14日(日)	16:20-17:50																						
7月15日(月)	9:00-10:30																						
7月15日(月)	10:40-12:10																						
7月15日(月)	13:00-14:30																						
7月15日(月)	14:40-16:10																						
7月15日(月)	16:20-17:50																						
7月16日(火)	18:30-20:00						●																芳我②
7月16日(火)	20:10-21:40						●																芳我②
7月17日(水)	18:30-20:00	●																					西村(亜)
7月17日(水)	20:10-21:40	●																					西村(亜)
7月18日(木)	18:30-20:00		●																				松本
7月18日(木)	20:10-21:40		●																				松本
7月19日(金)	18:30-20:00																						
7月19日(金)	20:10-21:40																						
7月20日(土)	9:00-10:30																						
7月20日(土)	10:40-12:10																						
7月20日(土)	13:00-14:30																						
7月20日(土)	14:40-16:10																						
7月20日(土)	16:20-17:50																						
7月21日(日)	9:00-10:30																						
7月21日(日)	10:40-12:10																						
7月21日(日)	13:00-14:30																						
7月21日(日)	14:40-16:10																						
7月21日(日)	16:20-17:50																						
7月22日(月)	18:30-20:00						●																芳我③
7月22日(月)	20:10-21:40						●																芳我③
7月23日(火)	18:30-20:00																						
7月23日(火)	20:10-21:40																						
7月24日(水)	18:30-20:00																						
7月24日(水)	20:10-21:40																						

領域		基盤科目										専門科目										備考	
月日	時間帯	科目名	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	講義担当者	
																							松本
7月25日(木)	18:30-20:00		●																				松本
7月25日(木)	20:10-21:40		●																				松本
7月26日(金)	18:30-20:00																						
7月26日(金)	20:10-21:40																						
7月27日(土)	9:00-10:30																						
7月27日(土)	10:40-12:10																						
7月27日(土)	13:00-14:30																						
7月27日(土)	14:40-16:10																						
7月27日(土)	16:20-17:50																						
7月28日(日)	9:00-10:30																						
7月28日(日)	10:40-12:10																						
7月28日(日)	13:00-14:30																						
7月28日(日)	14:40-16:10																						
7月28日(日)	16:20-17:50																						
7月29日(月)	18:30-20:00																						
7月29日(月)	20:10-21:40																						
7月30日(火)	18:30-20:00																						
7月30日(火)	20:10-21:40																						
7月31日(水)	18:30-20:00																						
7月31日(水)	20:10-21:40																						
8月1日(木)	18:30-20:00																						
8月1日(木)	20:10-21:40																						
8月2日(金)	18:30-20:00																						
8月2日(金)	20:10-21:40																						
8月3日(土)	9:00-10:30																						
8月3日(土)	10:40-12:10																						
8月3日(土)	13:00-14:30																						
8月3日(土)	14:40-16:10																						
8月3日(土)	16:20-17:50																						
8月4日(日)	9:00-10:30																						
8月4日(日)	10:40-12:10																						
8月4日(日)	13:00-14:30																						
8月4日(日)	14:40-16:10																						
8月4日(日)	16:20-17:50																						
8月5日(月)	18:30-20:00																						
8月5日(月)	20:10-21:40																						
8月6日(火)	18:30-20:00																						
8月6日(火)	20:10-21:40																						
8月7日(水)	18:30-20:00																						
8月7日(水)	20:10-21:40																						
8月8日(木)	18:30-20:00																						
8月8日(木)	20:10-21:40																						
8月9日(金)	18:30-20:00																						
8月9日(金)	20:10-21:40																						
8月10日(土)	9:00-10:30																						
8月10日(土)	10:40-12:10																						
8月10日(土)	13:00-14:30																						
8月10日(土)	14:40-16:10																						
8月10日(土)	16:20-17:50																						
8月11日(日)	9:00-10:30																						
8月11日(日)	10:40-12:10																						
8月11日(日)	13:00-14:30																						
8月11日(日)	14:40-16:10																						
8月11日(日)	16:20-17:50																						
8月12日(月)	9:00-10:30																						
8月12日(月)	10:40-12:10																						
8月12日(月)	13:00-14:30																						
8月12日(月)	14:40-16:10																						
8月12日(月)	16:20-17:50																						
8月13日(火)	18:30-20:00																						
8月13日(火)	20:10-21:40																						
8月14日(水)	18:30-20:00																						
8月14日(水)	20:10-21:40																						
8月15日(木)	18:30-20:00																						
8月15日(木)	20:10-21:40																						
8月16日(金)	18:30-20:00																						
8月16日(金)	20:10-21:40																						

領域		基盤科目										専門科目										備考 講義担当者
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論		
8月17日(土)	9:00-10:30																					
8月17日(土)	10:40-12:10																					
8月17日(土)	13:00-14:30																					
8月17日(土)	14:40-16:10																					
8月17日(土)	16:20-17:50																					
8月18日(日)	9:00-10:30																					
8月18日(日)	10:40-12:10																					
8月18日(日)	13:00-14:30																					
8月18日(日)	14:40-16:10																					
8月18日(日)	16:20-17:50																					
8月19日(月)	18:30-20:00																					
8月19日(月)	20:10-21:40																					
8月20日(火)	18:30-20:00																					
8月20日(火)	20:10-21:40																					
8月21日(水)	18:30-20:00																					
8月21日(水)	20:10-21:40																					
8月22日(木)	18:30-20:00																					
8月22日(木)	20:10-21:40																					
8月23日(金)	18:30-20:00																					
8月23日(金)	20:10-21:40																					
8月24日(土)	9:00-10:30																					
8月24日(土)	10:40-12:10																					
8月24日(土)	13:00-14:30																					
8月24日(土)	14:40-16:10																					
8月24日(土)	16:20-17:50																					
8月25日(日)	9:00-10:30																					
8月25日(日)	10:40-12:10																					
8月25日(日)	13:00-14:30																					
8月25日(日)	14:40-16:10																					
8月25日(日)	16:20-17:50																					
8月26日(月)	18:30-20:00																					
8月26日(月)	20:10-21:40																					
8月27日(火)	18:30-20:00																					
8月27日(火)	20:10-21:40																					
8月28日(水)	18:30-20:00																					
8月28日(水)	20:10-21:40																					
8月29日(木)	18:30-20:00																					
8月29日(木)	20:10-21:40																					
8月30日(金)	18:30-20:00																					
8月30日(金)	20:10-21:40																					
8月31日(土)	9:00-10:30																					
8月31日(土)	10:40-12:10																					
8月31日(土)	13:00-14:30																					
8月31日(土)	14:40-16:10																					
8月31日(土)	16:20-17:50																					
9月1日(日)	9:00-10:30																					
9月1日(日)	10:40-12:10																					
9月1日(日)	13:00-14:30																					
9月1日(日)	14:40-16:10																					
9月1日(日)	16:20-17:50																					
9月2日(月)	18:30-20:00																					
9月2日(月)	20:10-21:40																					
9月3日(火)	18:30-20:00																					
9月3日(火)	20:10-21:40																					
9月4日(水)	18:30-20:00																					
9月4日(水)	20:10-21:40																					
9月5日(木)	18:30-20:00											●										基礎看護学教授, 基礎看護学准教授
9月5日(木)	20:10-21:40																					
9月6日(金)	18:30-20:00																					
9月6日(金)	20:10-21:40																					
9月7日(土)	9:00-10:30										●											加藤①
9月7日(土)	10:40-12:10										●				●							加藤②, 川田
9月7日(土)	13:00-14:30										●				●							加藤③, 川田
9月7日(土)	14:40-16:10																					
9月7日(土)	16:20-17:50																					
9月8日(日)	9:00-10:30										●											加藤④
9月8日(日)	10:40-12:10										●											加藤⑤

領域		基盤科目										専門科目										備考
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	講義担当者	
9月8日(日)	13:00-14:30																					
9月8日(日)	14:40-16:10																					
9月8日(日)	16:20-17:50																					
9月9日(月)	18:30-20:00																					
9月9日(月)	20:10-21:40																					
9月10日(火)	18:30-20:00																					
9月10日(火)	20:10-21:40																					
9月11日(水)	18:30-20:00																					
9月11日(水)	20:10-21:40																					
9月12日(木)	18:30-20:00																					
9月12日(木)	20:10-21:40																					
9月13日(金)	18:30-20:00																					
9月13日(金)	20:10-21:40																					
9月14日(土)	9:00-10:30																					
9月14日(土)	10:40-12:10																					
9月14日(土)	13:00-14:30																					
9月14日(土)	14:40-16:10																					
9月14日(土)	16:20-17:50																					
9月15日(日)	9:00-10:30																					
9月15日(日)	10:40-12:10																					
9月15日(日)	13:00-14:30																					
9月15日(日)	14:40-16:10																					
9月15日(日)	16:20-17:50																					
9月16日(月)	9:00-10:30																					
9月16日(月)	10:40-12:10																					
9月16日(月)	13:00-14:30																					
9月16日(月)	14:40-16:10																					
9月16日(月)	16:20-17:50																					
9月17日(火)	18:30-20:00																					
9月17日(火)	20:10-21:40																					
9月18日(水)	18:30-20:00																					
9月18日(水)	20:10-21:40																					
9月19日(木)	18:30-20:00																					
9月19日(木)	20:10-21:40																					
9月20日(金)	18:30-20:00																					
9月20日(金)	20:10-21:40																					
9月21日(土)	9:00-10:30																					
9月21日(土)	10:40-12:10																					
9月21日(土)	13:00-14:30																					
9月21日(土)	14:40-16:10																					
9月21日(土)	16:20-17:50																					
9月22日(日)	9:00-10:30																					
9月22日(日)	10:40-12:10																					
9月22日(日)	13:00-14:30																					
9月22日(日)	14:40-16:10																					
9月22日(日)	16:20-17:50																					
9月23日(月)	9:00-10:30																					
9月23日(月)	10:40-12:10																					
9月23日(月)	13:00-14:30																					
9月23日(月)	14:40-16:10																					
9月23日(月)	16:20-17:50																					
9月24日(火)	18:30-20:00																					
9月24日(火)	20:10-21:40																					
9月25日(水)	18:30-20:00																					
9月25日(水)	20:10-21:40																					
9月26日(木)	18:30-20:00																					

領域		基盤科目										専門科目										備考
月日	科目名 時間帯	理論看護学	看護倫理学	看護研究方法論1	看護研究方法論2	看護教育学	看護管理学	臨床科学	国際看護学特論	養護教育特論	看護医科学特論	基礎看護学特論	急性期成人看護学特論	慢性期成人看護学特論	小児看護学特論	母性看護学特論	老年看護学特論	精神看護学特論	在宅看護学特論	地域看護学特論	講義担当者	
9月26日(木)	20:10-21:40																					
9月27日(金)	18:30-20:00																					
9月27日(金)	20:10-21:40																					
9月28日(土)	9:00-10:30																					
9月28日(土)	10:40-12:10																					
9月28日(土)	13:00-14:30																					
9月28日(土)	14:40-16:10																					
9月28日(土)	16:20-17:50																					
9月29日(日)	9:00-10:30																					
9月29日(日)	10:40-12:10																					
9月29日(日)	13:00-14:30																					
9月29日(日)	14:40-16:10																					
9月29日(日)	16:20-17:50																					
9月30日(月)	18:30-20:00																					
9月30日(月)	20:10-21:40																					
10月1日(火)	18:30-20:00																					
10月1日(火)	20:10-21:40																					
10月2日(水)	18:30-20:00																					
10月2日(水)	20:10-21:40																					
10月3日(木)	18:30-20:00																					
10月3日(木)	20:10-21:40																					
10月4日(金)	18:30-20:00																					
10月4日(金)	20:10-21:40																					
10月5日(土)	9:00-10:30																					
10月5日(土)	10:40-12:10																					
10月5日(土)	13:00-14:30																					
10月5日(土)	14:40-16:10										●											塩田①
10月5日(土)	16:20-17:50										●											塩田②
10月6日(日)	9:00-10:30										●											塩田③
10月6日(日)	10:40-12:10										●											塩田④
10月6日(日)	13:00-14:30										●											塩田⑤
10月6日(日)	14:40-16:10																					
10月6日(日)	16:20-17:50																					
10月7日(月)	18:30-20:00																					
10月7日(月)	20:10-21:40																					
10月8日(火)	18:30-20:00																					
10月8日(火)	20:10-21:40																					
10月9日(水)	18:30-20:00																					
10月9日(水)	20:10-21:40																					
10月10日(木)	18:30-20:00																					
10月10日(木)	20:10-21:40																					
10月11日(金)	18:30-20:00																					
10月11日(金)	20:10-21:40																					
10月12日(土)	9:00-10:30																					
10月12日(土)	10:40-12:10																					
10月12日(土)	13:00-14:30																					
10月12日(土)	14:40-16:10																					
10月12日(土)	16:20-17:50																					
10月13日(日)	9:00-10:30																					
10月13日(日)	10:40-12:10																					
10月13日(日)	13:00-14:30																					
10月13日(日)	14:40-16:10																					
10月13日(日)	16:20-17:50																					
10月14日(月)	9:00-10:30																					
10月14日(月)	10:40-12:10																					
10月14日(月)	13:00-14:30																					
10月14日(月)	14:40-16:10																					
10月14日(月)	16:20-17:50																					
10月15日(火)	18:30-20:00																					
10月15日(火)	20:10-21:40																					
10月16日(水)	18:30-20:00																					
10月16日(水)	20:10-21:40																					
10月17日(木)	18:30-20:00																					
10月17日(木)	20:10-21:40																					
10月18日(金)	18:30-20:00																					
10月18日(金)	20:10-21:40																					

臨床心理学専攻 (修士課程)

大学院医学系研究科臨床心理学専攻（修士課程）

目 次

1	目 的	62
2	組織構成	62
3	履修方法等	62
4	授業科目及び単位数	64
5	時間割表	65
6	行事予定	67
7	修士論文の作成と提出	68
8	臨床心理学専攻構想発表会	71
9	修士論文に係る医学部倫理委員会申請	71
10	学生生活支援について	72
11	臨床心理士資格認定試験の受験資格を取得するために必要な授業科目の履修に関する細則	74

大 学 院 案 内

1 目 的

本学大学院医学系研究科臨床心理学専攻（修士課程）は、心理援助者に必要な高度な知識と経験、高度専門職業人としての高い倫理感・責任感を有し、深い思考力をもった人間性豊かな人材を育成することを目的とします。

具体的には、心理援助を実践し、その中で自ら課題を発見・探求・解決できる高度な専門的知識及び医学的素養と実践力、研究能力と共感的能力を備え、かつ多職種連携、協働の態度・技能とプロフェッショナリズムを持ち、心理援助の実践と研究を通して、グローバルな視野で地域住民の福祉・医療の充実・発展に寄与すると共に、心理援助の発展に貢献する心理援助者を養成します。

2 組織構成

本学の大学院医学系研究科は、医学部医学科を基盤とした博士課程（医学専攻）、医学部看護学科を基盤とした修士課程（看護学専攻）及び医学部臨床心理学を基盤とした修士課程（臨床心理学専攻）が設置されています。

臨床心理学専攻（修士課程）は、下記の11の専門領域で構成され、教員が配置されています。心理学・臨床心理学系が9名、医学系（医師免許を有し、心療内科学もしくは精神医学の臨床経験を有する）が2名です。全員が公認心理師あるいは臨床心理士の資格を有しています。本専攻の定員10名に対し、充実した少人数教育を展開します。

分 野	専 門 領 域	担 当 教 員
臨床心理学	発達臨床心理学	林 智一
	心理アセスメント学	橋本 忠行
	臨床心理面接学	太田 美里
	心理療法実践学	竹森 元彦
	心身医学	神原 憲治
	精神医学	角 徳文
	基礎心理学	川人 潤子
	社会・集団心理学	野口 修司
	心理実践指導学	坂中 尚哉
	心理実践教育学	谷渕 真也
	心理実践職能学	長谷 綾子

3 履修方法等

(1) 修業年限は、2年を標準とします。

長期履修学生制度について

職業等を有している等の事情による者は、2年の修業年限の教育課程を、3年にわたり計画的に履修することができます。この場合2年間に支払うべき授業料総額を3年間に分割して支払うことになります。

この制度を利用する場合、入学試験の出願期間または1年次の1月末までに長期履修学生の申請をし、許可を受ける必要があります。

詳細についての問い合わせ・申請用紙の請求は下記までご連絡ください。

香川大学医学部学務課 大学院担当 087-891-2075（ダイヤルイン）

メールアドレス daigakuin-m@kagawa-u.ac.jp

(2) 修了要件

次の区分により 41 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- i) 基礎科目 必修科目 4 科目 5 単位以上
- ii) 専門科目 必修科目 18 科目 32 単位
- iii) 研究科目 4 単位

(3) 公認心理師及び臨床心理士の受験資格について

公認心理師については、大学（学部）において公認心理師に関する指定科目を修得して卒業した者及びその者に準ずるものとして文部科学省令・厚生労働省令で定める者が本専攻を修了した場合、公認心理師の受験資格を得ることができます。

なお、本専攻では大学（学部）における指定科目修得状況等の確認は行いませんので、受験資格を希望する場合は、必ずご自身で確認をお願いします。

臨床心理士については、本専攻を修了した者で、受験に必要な科目を全て修得し臨床心理学に関する修士論文を作成した者は、臨床心理士受験資格を得ることができます。

4 授業科目及び単位数

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			担当教員	備考
			必修	選択	自由		
基礎科目	臨床心理学研究法特論	1通	2			神原 憲治、竹森 元彦、林 智一、橋本 忠行、角 徳文、野口 修司、川人 潤子、谷淵 真也、坂中 尚哉、長谷 綾子、太田 美里	
	臨床心理学特論Ⅰ	1前		2		太田 美里	
	臨床心理学特論Ⅱ	1後		2		竹森 元彦、長谷 綾子	
	心理援助者のための職業倫理と研究・生命倫理	1通	1			林 智一、西山 成、桑原 知巳	
	心理援助職のための応用医学特論	1前	1			坂東 修二、山本 融、門田 球一、日下 隆、辻 晃仁、宮武 伸行、村上 あきつ、渡邊 久美、長谷 綾子	
	心理援助職のための多職種連携	1前	1			竹森 元彦、長谷 綾子、野口 修司、坂東 修二、渡邊 久美	
	小計（6科目）	—	5	4	0		
専門科目	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2			竹森 元彦、谷淵 真也	
	臨床心理面接特論Ⅱ	1後		2		太田 美里	
	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1前	2			橋本 忠行、坂中 尚哉、谷淵 真也	
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後		2		橋本 忠行	
	臨床心理基礎実習	1通	2			坂中 尚哉、竹森 元彦、橋本 忠行、林 智一、谷淵 真也、太田 美里	
	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ（心理臨床事例検討実習Ⅱ））	2通	1			坂中 尚哉、長谷 綾子、谷淵 真也、竹森 元彦、橋本 忠行、太田 美里	
	臨床心理実習Ⅱ	2通		1		坂中 尚哉、竹森 元彦、林 智一、橋本 忠行、野口 修司、川人 潤子、長谷 綾子、谷淵 真也、太田 美里	
	心理学研究法特論	1前		2		谷淵 真也、※高田 純	
	教育臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後	2			坂中 尚哉、角 徳文、神原 憲治	
	発達臨床心理学特論	1前		2		林 智一	
	家族・集団臨床心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1後	2			野口 修司	
	産業・労働心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2前	2			野口 修司、角 徳文、神原 憲治	
	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2前集中	2			坂中 尚哉、※黒澤 良輔	
	福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2後集中	2			竹森 元彦、※四方 克尚	
	精神医療における心理支援（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1前	2			角 徳文	
	心身医学と心理支援（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1後	2			神原 憲治	
	面接技法演習	1後		2		竹森 元彦、橋本 忠行、林 智一、野口 修司、川人 潤子、坂中 尚哉、長谷 綾子、谷淵 真也、太田 美里	
	力動的心理療法特論	1後		2		林 智一	
	心の健康教育に関する理論と実践	2後	2			川人 潤子、谷淵 真也	
	心理実践実習Ⅰ（ケースフォーミュレーション実習）	1・2通	1			坂中 尚哉、長谷 綾子、谷淵 真也、竹森 元彦、橋本 忠行、太田 美里	
	心理実践実習Ⅱ（心理臨床事例検討実習Ⅰ）	1通	1			坂中 尚哉、長谷 綾子、谷淵 真也、竹森 元彦、橋本 忠行、太田 美里	
	心理実践実習Ⅳ（心理臨床ケース実習）	1・2通	2			谷淵 真也、坂中 尚哉、長谷 綾子、神原 憲治、竹森 元彦、林 智一、橋本 忠行、角 徳文、野口 修司、川人 潤子、太田 美里	
	心理実践実習A（地域医療実習）	1通	1			角 徳文、神原 憲治、長谷 綾子、竹森 元彦、林 智一、坂中 尚哉	
心理実践実習B（福祉・教育実習）	1通	2			谷淵 真也、林 智一、橋本 忠行、竹森 元彦、野口 修司、長谷 綾子、太田 美里		
心理実践実習C（精神・神経領域病院実習）	2通	1			角 徳文、神原 憲治、長谷 綾子、竹森 元彦、橋本 忠行、中村 祐、梶浦 麻琴		
心理実践実習D（身体領域病院実習）	2通	1			神原 憲治、角 徳文、長谷 綾子、竹森 元彦、日下 隆、辻 晃仁、南野 哲男、野口 修司、川人 潤子、梶浦 麻琴		
研究科目	課題研究	2通	4			林 智一、橋本 忠行、竹森 元彦、神原 憲治、角 徳文、野口 修司、坂中 尚哉、谷淵 真也、川人 潤子、長谷 綾子、太田 美里	
合計（33科目）		—	41	17	0		

5 令和6年度 臨床心理学専攻 授業時間割表(1年次生)

前期

曜日	I 時限 8:50～10:20	II 時限 10:30～12:00	III 時限 13:00～14:30	IV 時限 14:40～16:10	V 時限 16:20～17:50
月	心理実践実習 II 研453 *1	心理実践実習 I (隔週) 研453 *1	心理援助職のための 応用医学特論 <small>※講義日程および教習は編 考欄を参照のこと</small>	心理援助職のための 多職種連携 多207	臨床心理学 研究法特論
火	臨床心理査定実習 I 講205	発達臨床心理学特 論 研519	精神医療における 心理支援 研519	臨床心理学特論 I 多207	
水			臨床心理基礎実習 講205/多206 *2		
木		臨床心理面接特論 I 講205			
金		心理援助者のため の職業倫理と研 究・生命倫理 講205			

*1 心理実践実習 I・II の授業を、2024年5月1日のみ研453ではなく講202で行います。

*2 臨床心理基礎実習の授業を、2024年5月8日のみ多206ではなく講202で行います。

後期

曜日	I 時限 8:50～10:20	II 時限 10:30～12:00	III 時限 13:00～14:30	IV 時限 14:40～16:10	V 時限 16:20～17:50
月	心理実践実習 II (隔週) 研453 *3	心理実践実習 I (隔週) 研453 *3	家族・集団臨床心 理学特論 講202 *4	心身医学と心理支 援 講202 *4	臨床心理学 研究法特論
火	臨床心理査定実習 II 講204	力動的心理学療法特 論 研519	心理実践実習B 研519	臨床心理面接特論 II 多207	
水	臨床心理学特論 II 研519	教育臨床心理学特 論 研519	臨床心理基礎実習 講205/多206		
木					
金		心理援助者のため の職業倫理と研 究・生命倫理 講205			

*3 心理実践実習 I・II の授業を、2024年10月16日のみ研453ではなく講202で行います。

*4 家族・集団臨床心理学特論、心身医学と心理支援の授業を、2025年2月3日のみ講202ではなく講102で行います。

(備考)

1.教室名

研453 …会議室(A)(臨床研究棟4階)
 研519 …カンファレンス室(基礎臨床研究棟5階)
 講102 …講義室102(講義棟1階)※旧 大講義室B
 講202 …講義室202(講義棟2階)※旧 大講義室D
 講204 …講義室204(講義棟2階)※旧 小講義室D
 講205 …講義室205(講義棟2階)※旧 小講義室E
 多206 …多目的室206(講義棟2階)
 多207 …多目的室207(講義棟2階)

注意事項:研453, 研519は診療科カンファレンス等との共用使用となりますので、原則授業時間以外での利用はできません。また、出入りは静粛に行い、室内の整頓・美化に努めてください。

2.前期授業開始:4月10日(水)

後期授業開始:10月2日(水)

3.実習について

○心理実践実習A:詳細は追って通知する。

時間割のグレーの枠で実施する。

○心理実践実習B:詳細は追って通知する。

時間割のグレーの枠で実施する。

4.時間外・集中講義について

○心理学研究法特論:集中 9月17日(火)～9月20日(金)

○面接技法実習:後期 詳細は追って通知する。

※心理援助職のための応用医学特論

第1回 4/11(木)4時限 院702

第2回 4/22(月)3時限 院702

第3回 5/ 2(木)4時限 研453

第4回 5/10(金)4時限 研453

第5回 5/15(水)1時限 研453

第6回 5/23(木)4時限 研453

第7回 5/27(月)3時限 院702

第8回 6/ 3(木)3時限 院702

第9回 6/10(月)3時限 未定

第10回 6/17(月)3時限 未定

第11回 6/27(木)4時限 研453

5 令和6年度 臨床心理学専攻 授業時間割表(2年次生)

前 期	I 時限 8:50～10:20	II 時限 10:30～12:00 心理実践実習 I (隔週) 研453 *1	III 時限 13:00～14:30 産業・労働心理学 特論 研519	IV 時限 14:40～16:10	V 時限 16:20～17:50
曜 日					課題研究
月	心理実践実習 II (隔週) 研453 *1				
火					
水					
木					
金					

*1 心理実践実習 I・II の授業を、2024年5月1日のみ研453ではなく講202で行います。

後 期	I 時限 8:50～10:20	II 時限 10:30～12:00 心理実践実習 I (隔週) 研453 *2	III 時限 13:00～14:30	IV 時限 14:40～16:10 心の健康教育に関 する理論と実践 研519	V 時限 16:20～17:50
曜 日					課題研究
月	心理実践実習 II (隔週) 研453 *2				
火					
水					
木					
金					

*3 心理実践実習 I・II の授業を、2024年10月16日のみ研453ではなく講202で行います。

(備考)

1. 教室名

研519 ……カンファレンス室(基礎臨床研究棟5階)
 講202 ……講義室202(講義棟2階)※旧 大講義室D
 講205 ……講義室205(講義棟2階)※旧 小講義室E
 注意事項: 研519は診療科カンファレンス等との共用使用となり
 ますので、原則授業時間以外での利用はできません。また、出入
 りは静粛に行い、室内の整頓・美化に努めてください。

2. 前期授業開始: 4月10日(水)

後期授業開始: 10月2日(水)

3. 実習について

○心理実践実習C: 通年 詳細は追って通知する。
 基本的に時間割のグレーの枠で実施する。

○心理実践実習D: 通年 詳細は追って通知する。
 時間割のグレーの枠で実施する。

○臨床心理実習 II: 通年 詳細は追って通知する。

4. 時間外・集中講義について

○犯罪心理学特論: 集中 9月9日(月)～9月12日(木)

○福祉心理学特論: 集中 詳細は追って通知する。

6. 2024年度行事予定

月 日 (曜日)	行事予定	対 象 者
4月3日 (水)	入学式	1年次生
4月1日 (月)～4月8日 (月) 13時	前期及び通年 履修登録期間	全員
4月26日 (金)	指導教員希望調査 提出締切	1年次生
5月24日 (金) 17時	指導教員等届 提出締切	1年次生
6月26日 (水)	修士論文中間発表会	2年次生
8月22日 (木)	大学院入試 (前期日程)	
9月13日 (金) ～9月19日 (木) 13時	後期 履修登録期間	全員
10月23日 (水)	修士論文構想発表会	1年次生
12月11日 (水)～12月17日 (火)	論文題目届受付 (17:00までに学務課へ)	2年次生
1月9日 (木)～1月15日 (水)	審査論文提出(最終日12:00までに学務課へ)	2年次生
1月17日 (金)～2月13日 (木)	修士論文審査期間	2年次生
2月6日 (木)	大学院入試 (後期日程)	
2月12日 (水)	修士論文発表会準備	2年次生
2月13日 (木)	修士論文発表会	2年次生
2月17日 (月)	学位論文提出 (12:00までに学務課へ)	2年次生
3月24日 (月)	学位授与・修了式	2年次生

日程は変更される可能性があります。

7 修士論文の作成と提出（最終年次）

1) 修士論文作成プロセス

(1) 学位論文題目届受付

学位論文題目届受付期間中17時までに、学位論文題目届（様式1）を学務課大学院担当に提出する。

(2) 審査論文受付

審査論文受付期間中に、以下を添えて学務課大学院担当に提出する。

- ・学位論文審査願（様式2） 1部
- ・学位論文（表紙（様式5）を付ける） 3部
- ・学位論文の内容の要旨（様式3） 4部
- ・論文目録（様式4） 4部

（参考文献は修士論文作成に参考にした修士生自身による論文がある場合に記入、ない場合は参考文献なしと記入）

(3) 修士論文発表会

発表はPower Point(パワーポイント)を使用し、発表者は発表会資料を用意する。

(4) 論文審査

指定期間中に主査、副主査により修了候補者出席のもと実施する。

(5) 学位論文提出

論文審査終了後、主査からの審査報告に基づき作成された学位論文を受付期間の最終正午12時までに学務課大学院担当に2部提出する。

＊この時、学位論文表紙（様式5）をつける。

＊大学院担当に2部提出されたうちの1部を大学院担当から主査に送付する。

(6) 学位授与決定（3月中旬の医学系研究科教授会）

(7) 学位授与 学位記授与式（幸町キャンパス）

(8) 製本された報告用学位論文を学位授与式前日までに、1部、学務課に提出する。この時、学位論文提出期間までに提出された論文と引き換える。

2) 修士論文作成の要領

別冊子「臨床心理学科・臨床心理学専攻 卒業論文，修士論文作成の手引き」を参照のこと。

ただし、修士論文を学会誌等に投稿する場合は、指導教員との合意のもと、その学会等の定める要領に従って作成することができる。

手引きURL

<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/articles/000/000/414/>

様式5

学 位 論 文

○○○・・・・・・・・○○○

香 川 太 郎

令和 年度入学

香川大学大学院医学系研究科修士課程
臨床心理学専攻 臨床心理学分野 ○○専門領域

指導教員 ○ ○ ○ ○

様式6

整理番号	香大医臨修第 号	
------	----------	--

学位論文審査の結果の要旨

令和 年 月 日

審査委員	主 査			◎
	副主査			◎
	副主査			◎
撰 出 者	専攻	臨床心理学	専門領域	
	学籍番号		氏名	
論 文 題 目				
学位論文の審査結果		合格・不合格 (該当するものを○で囲むこと。)		
【要 旨】				

(備考) 要旨は、1,500字以内にまとめてください。

様式7

整理番号	香大医臨修第 号	
------	----------	--

最終試験の結果の判定

令和 年 月 日

専 攻	臨床心理学	専門領域	
学籍番号		氏 名	

審査委員	主 査	教 授	◎
	副主査		◎
	副主査		◎

学 位 論 文 を 中 心 と し て こ れ に 関 連 す る 分

野 に つ い て、
口述試験
筆記試験

により、最終試験を実施した結果、
と判定する。

(注) は合格・不合格の別を記入してください。

8 臨床心理学専攻構想発表会（1年次生）

5月下旬の指導教員決定会で説明します。

9 修士論文に係る医学部倫理委員会申請

香川大学大学院医学系研究科（臨床心理学専攻）修士課程では、院生の研究課題に関して、指導教員の指導のもと、医学部倫理委員会に倫理審査申請を行い、承認を得ることを指導している。計画的に研究を実施すること。

10 学生生活支援について

1 入学料の免除

入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、また本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合などの特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められた者については、願い出により選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがある。

なお、前述及び経済的理由により納付期限（入学手続期間）までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者については、願い出により選考の上、入学料を指定された期日まで徴収を猶予することがある。

2 授業料免除

学業優秀と認められる者で、上記と同様な理由により、授業料を所定の期日までに納入することが困難な者は、願い出により選考の上、その期の授業料の全額又は半額を免除することがある。

3 独立行政法人日本学生支援機構（育英奨学事業）

人物、学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者に対して、選考の上、日本学生支援機構奨学規程に基づいて、次の奨学金が貸与される。

種 別	貸与月額
第一種奨学金（無利子）	50,000 円又は 88,000 円
第二種奨学金（有利子）	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の5種類から選択

4 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

大学に学ぶ学生が被る種々の正課中及び課外活動中及び通学中の災害に対する被害救済の措置を目的とした制度。正課中及び課外活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故や、住居と学校施設等との間の通学、学校施設間相互の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われる。

本学では、この保険制度を採用し、入学者全員加入とし、各自で保険加入手続きを行うよう指導している。

5 損害保険

臨床心理学専攻では、実習等があるため、全員が必ず損害賠償保険に加入すること。

ア 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）について

この保険は、正課、学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合の、法律上の損害賠償を補償するための必要最小限の保険である。

イ 学研災付帯学生生活保険（付帯学総）について

学研賠では正課であることが補償の範囲となっているが、付帯学総は正課中に限らず、また学内外を問わず補償対象であり、病気に対する補償やアルバイト中の対人・対物補償、日常生活での補償や、扶養者が事故で亡くなったり、重度後遺症を被った場合の育英・学

資費用の補償など、幅広い賠償保険となっているため、加入を推奨している。

6 健康管理

学生、教職員の保健管理業務を専門的に取り扱うことを目的として、専任の医師、保健師の在籍する保健管理センター医学部分室を設置している。定期健康診断の他に、心身の健康や精神面の相談対応を行っている。具体的には、定期健康診断後の証明書発行や、簡単な応急処置・急病対応、カウンセラーによる相談を行っている。

7 学生生活相談

学務課（管理棟1階）の窓口において、修学上の問題、学内の施設案内等、どんな小さなことでも相談にのりますので、一人で思い悩むことなく、気軽に相談してください。

8 学会発表助成

国内及び海外における研究発表を行う場合の旅費の補助がある。

9 長期履修制度

職業を有している等の事情による者は、申し出により審査を行い認可された場合、3年を修業年限とする長期履修制度がある。

10 注意

連絡事項は基礎臨床研究棟1階の大学院生用掲示板で行う。

11 香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻における臨床心理士資格試験の受験資格を取得するために必要な授業科目の履修に関する細則

(趣旨)

第1条 この細則は、香川大学大学院医学系研究科規程第9条第4項の規定に基づき、香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻（以下「臨床心理学専攻」という。）における臨床心理士資格試験の受験資格を取得するために必要な授業科目の履修について必要な事項を定める。

(授業科目の修得)

第2条 臨床心理学専攻において臨床心理士資格試験の受験資格を取得しようとする学生は、別表に定める授業科目について、次の区分により26単位以上を修得しなければならない。

(1) 必修科目 16単位

(2) 選択必修科目 A群、B群、C群、D群、E群の各群からそれぞれ2単位以上、計10単位以上

附 則

この細則は、令和2年4月1日から施行する。

別表

領域	科目名	単位	必要単位数	
必修科目	臨床心理学特論Ⅰ	2	16 単位	
	臨床心理学特論Ⅱ	2		
	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）※	2		
	臨床心理面接特論Ⅱ	2		
	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）※	2		
	臨床心理査定演習Ⅱ	2		
	臨床心理基礎実習 ※	2		
	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ（心理臨床事例検討実習Ⅱ））※	1		
臨床心理実習Ⅱ	1			
選択必修科目	A群	臨床心理学研究法特論 ※	2	1科目2単位以上
		心理学研究法特論	2	
	B群	教育臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）※	2	1科目2単位以上
		発達臨床心理学特論	2	
	C群	家族・集団臨床心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）※	2	1科目2単位以上
		産業・労働心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）※	2	
		犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）※	2	
	D群	福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）※	2	1科目2単位以上
		精神医療における心理支援（保健医療分野に関する理論と支援の展開）※	2	
	E群	心身医学と心理支援（保健医療分野に関する理論と支援の展開）※	2	1科目2単位以上
面接技法演習		2		
	力動的心理療法特論	2		

※印は臨床心理学専攻を修了するために必要な必修科目

看護学専攻 (博士後期課程)

大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	76
科目表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	77
学生生活支援について・・・・・・・・・・・・・・・・	83

看護学専攻
（博士後期課程）

はじめに

この冊子は、大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程の授業科目の履修方法及び内容の一部を示したものです。

授業科目の履修方法は、「香川大学大学院学則」及び「香川大学大学院医学系研究科規程」に定められております。

なお、博士課程を修了するための要件の概要は、3年以上在学し、所定の単位15単位以上（基盤科目の必修科目2単位、基盤科目の選択必修科目1単位以上、専門科目の必修科目4単位、専門科目の選択科目2単位以上、特別研究6単位）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することです。なお、基盤科目の選択科目のうち、医科学特論、希少糖科学特論から1単位以上を選択必修とします。

入学年度に履修科目登録を行いますので、所定の期日までに「履修届」を提出してください。履修届の提出がなく履修した科目の修得単位は、原則的に認められませんので注意してください。

次に、科目区分による修得単位数及び授業時間数の概要を説明します。

【基盤科目（必修科目2単位 選択必修科目1単位以上）】

必修科目であり、医学系研究科看護学専攻博士後期課程の基盤科目として3単位修得しなければなりません。

- ・健康イノベーション概論 1単位（必修）
- ・健康イノベーション研究方法論 1単位（必修）
- ・医科学特論（2単位）、希少糖科学特論（1単位）から、1単位以上を修得する
(選択必修)

【専門科目（必修科目4単位、選択科目2単位以上）】

選択科目は、研究テーマおよび博士論文テーマ等を基に研究を進めるための学習です。

- ・「健康発達支援看護特講（2単位）、「地域ケアシステム創造看護特講」（2単位）から、研究課題に応じて、どちらか一方、あるいは両方を履修することが可能です。
(選択必修)
- ・「健康創造看護学演習」（4単位）（必修）

【特別研究】6単位

論文研究やその他の研究活動に必要な知識と技術を習得するための授業である。研究テーマの設定、研究計画の立案と修正、研究の実施、結果の分析、考察の各プロセスについて講義と演習を行う。

以上、【基盤科目】3単位、【専門科目】6単位以上、【課題研究】6単位、合計15単位以上の単位を修得した上で、博士論文の審査を受けることができます。

●授業科目、単位数及び履修年次

表 看護学専攻博士後期課程カリキュラム

区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
健康創造看護学	基盤科目	健康イノベーション概論	1 (前)	1			
		健康イノベーション研究方法論	1 (前)	1			
		医科学特論	1 (通)		2		1 単位以上 修得すること
		希少糖科学特論	1 (通)		1		
	専門科目	健康発達支援看護特講	1 (前)		2		6 単位以上 修得すること
		地域ケアシステム創造看護特講	1 (前)		2		
		健康創造看護学演習	1 (後)	4			
	特別研究	健康創造看護学特別研究	1～3 (通)	6			
	修了に必要な単位数		15 単位				

●博士後期課程修了までの標準的な研究スケジュール

博士後期課程修了までの標準的な研究スケジュールは以下の通りである。

《1 年次》

入学時に研究指導教員を決定し、研究課題や履修モデルに基づいて履修科目を選択する。その後、研究課題の内容から、1 年次 3 月末までに副指導教員を 1 名以上決定する。科目履修と演習を通じて「健康創造看護学」に寄与できる研究課題に焦点化する。文献検索を行いながら研究課題に関する関連研究を精査し、研究計画の立案に着手する。

《2 年次》

前期に研究計画書を策定し、学内の中間発表会においてプレゼンテーションを行い、各分野の看護学専攻課程担当教員から助言を受けるとともに、医学部倫理委員会に申請する。ただし、同委員会での審査に先立ち、看護学専攻内で「看護学科事前検討委員会」を開催し、対象者の尊厳と人権擁護、対象者に理解を求め同意を得る方法、対象者の利益と不利益及び看護学上の貢献度等について事前検討を行い、研究の質を担保する。

なお、1 年次において研究計画が既に策定できている場合には、1 年次の 2 月に中間発表を行うことも可能である。医学部倫理委員会及び看護学科事前検討委員会は毎月開催され、学生は研究計画書を随時申請することができ、早期から研究を開始できる体制を整えている。

医学部倫理委員会で承認された研究計画書に基づき適切に研究を実施し、論文を作成できるよう、学生が研究指導教員と副指導教員に進捗状況を報告して指導を受ける機会を定期的に設ける。

《3年次》

2年次に引き続き学位論文にかかるデータの収集ならびに分析を進め、研究指導教員・副指導教員の具体的な指導の下、学位論文の作成に取り組む。研究成果を国内外の関連学術雑誌に投稿する。学位論文審査会では研究内容が審査基準を満たしているかについて審査及び学位論文を中心としてこれに関連する分野について口述の最終試験により行う。審査を受けるためには、本人を筆頭著者とする原著論文1編以上が査読のある学術雑誌（英語論文を含む）へ掲載済であるか、あるいは掲載が決定していなければならない。

1月に学位論文を提出し、学内において学位論文公開審査（論文審査・最終試験）を受ける。学位論文の可否を医学系研究科教授会専門委員会で審査し、医学部教授会で承認を得る。

3月に博士後期課程を修了し、修了者に博士（看護学）の学位が授与される。

表 博士後期課程修了までの標準的研究スケジュール

年次	学期	大学院生の研究活動	備考
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> 研究課題の明確化 予備調査の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導教員の決定 ガイダンス（今後のスケジュール等について） 履修科目選択 研究課題明確化のための文献検討、デザイン、予備調査の必要性など 副指導教員選択
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 予備調査の計画・実施 研究計画書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> フィールドワークの計画および実施 学位論文研究計画の立案 倫理委員会申請 副指導教員決定
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画の発表（中間発表会） 倫理委員会看護学科事前検討委員会申請 研究計画書の修正 医学部倫理委員会申請 承認取得後、研究開始、データ収集と分析 	<ul style="list-style-type: none"> 学位論文研究計画の発表（中間発表会） 倫理委員会看護学科事前検討委員会申請 研究計画書修正 医学部倫理委員会申請 医学部倫理委員会審査結果に基づく研究遂行 調査依頼における手続きなど

	後期	・研究の遂行 データ収集と分析	・指導教員に適宜、研究進捗を報告し、指導を受ける
3 年 次	前期	・学位論文の作成 ・投稿	・投稿学術雑誌の選定、論文投稿
	後期	・アクセプトまでの修正 ・学位論文審査会（学位 論文審査および最終試 験） ・学位授与	・アクセプトまでの論文修正 ・学位論文審査会に向けて、指導教員と調整

●学位論文中間発表会実施要領

1) 中間発表会 発表題目届

中間発表会は、原則、毎月（8月、12月を除く）最終水曜日に開催される。前週の月曜日（17時）までに、中間発表題目届を医学部ホームページ（医学系研究科）よりダウンロードして、学務課大学院担当に提出する。

2) 学位論文中間発表会の実施

中間発表会は、学生を担当する研究指導教員の主導のもと実施される。発表者は、先着順で5名を上限とする。開催通知は、学務課大学院担当から看護学専攻の学生および看護学科教員全員に行われる。

(1) 会場及び時間帯

会場は原則 209、301、305 教室のいずれかとし、開始は原則 18 時 00 分からとする（発表者が社会人のみの場合、18 時 30 分からの開始とする）。

(2) 発表者資料作成

発表資料(医学部ホームページ【中間発表会 様式】にある中間発表会抄録フォーマットおよび中間発表パワーポイント原稿の使用)は任意とする。配布された資料は、守秘義務の遵守を図るため、発表者に返還される。

医学部ホームページ（医学系研究科）学位審査等書式

<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/articles/000/000/414/>

【QRコード】



●学位論文審査体制

1) 審査体制

学位論文の審査は、医学系研究科教授会が設置した学位論文審査委員会にて行われる。学位論文審査委員は、学位論文ごとに、主査1名、副主査2名とし、いずれも看護学専攻専任教員が担当する。主査1名と副主査1名は、課程担当教員とし、厳格で公正な審査を行うため、指導教員および副指導教員とは異なる教員があたる。審査委員は、研究科教授会で協議され、研究科長が指名する。

学位論文審査会は公開とし、口頭発表と口頭試験により以下の審査基準に則って行う。最終試験の後、医学系研究科教授会専門委員会において審査委員会からの学位論文の審査の報

告に基づき学位授与の可否を審議し決定し、研究科教授会へ付議する。研究科教授会は、医学系研究科教授会専門委員会からの報告に基づき、学位授与の可否を議決する。

2) 審査基準

学位論文の審査基準は以下のとおりである。

- ①健康創造看護学の発展に寄与できる研究課題である
- ②学術論文として、新規性、創造性、応用的価値がある
- ③研究方法や倫理的配慮が妥当である
- ④文献が適切に引用され、論旨の一貫性がある
- ⑤学位論文は和文もしくは英文で書かれている

●学位論文の公表方法

学位論文は医学部図書館に保管するとともに、国立国会図書館に電子媒体で納本し、第三者の閲覧を可能にする。また、学位論文および内容の要旨と論文審査結果の要旨は、本学のホームページにおいても公表する。

授業科目及び担当教員

(医学系研究科看護学専攻博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			担当教員	備考
			必修	選択	自由		
基盤科目	健康イノベーション概論	1前	1			前川 泰子、芳我 ちより、石丸 伊知郎、藤村 和宏	
	健康イノベーション研究方法論	1前	1			山本 美輪、渡邊 久美、藤井 豊、Willey Ian David、谷本 公重、塩田 敦子、川人 潤子	
	医科学特論	1通		2		桑原 知己 他	医学専攻講義
	希少糖科学特論	1通		1		桑原 知己 他	医学専攻講義
	小計 (4科目)	—	2	3	0		
専門科目	健康発達支援看護特講	1前		2		市原 多香子、谷本 公重、山本 美輪、川田 紀美子、塩田 敦子	
	地域ケアシステム創造看護特講	1前		2		松本 啓子、渡邊 久美、前川 泰子、藤井 豊、芳我 ちより	
	健康創造看護学演習	1後	4			塩田 敦子、藤井 豊、加藤 育子、市原 多香子、谷本 公重、川田 紀美子、山本 美輪、渡邊 久美、松本 啓子、芳我 ちより、西村 亜希子、野原 留美、金正 貴美	
	小計 (3科目)	—	4	4	0		
特別研究	健康創造看護学特別研究	1・2・3通	6			各指導教員	
	小計 (1科目)	—	6	0	0		
合計 (8科目)		—	12	7	0		

●履修方法

※医科学特論、希少糖科学特論の日程等は本ガイド内の医学専攻の項目を参照すること

※健康イノベーション概論、健康イノベーション研究方法論、及び専門科目については各担当教員に連絡し日程調整すること

学生生活支援について

1 授業料免除

学業優秀と認められる者で、経済的理由により授業料を所定の期日までに納入することが困難な者は、願い出により選考の上、その期の授業料の全額又は半額を免除することがある。

2 独立行政法人日本学生支援機構（育英奨学事業）

人物、学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者に対して、選考の上、日本学生支援機構奨学規程に基づいて、次の奨学金が貸与される。

種 別	貸 与 月 額
第一種奨学金（無利子）	80,000 円、122,000 円、
第二種奨学金（有利子）	5 万円、8 万円、10 万円、13 万円、15 万円

3 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

大学に学ぶ学生が被る種々の正課中及び課外活動中及び通学中の災害に対する被害救済の措置を目的とした制度。正課中及び課外活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故や、住居と学校施設等との間の通学、学校施設間相互の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われる。

本学では、この保険制度を採用し、入学者全員加入とし、各自で保険加入手続きを行うよう指導している。

4 損害保険

ア 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）について

この保険は、正課、学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合の、法律上の損害賠償を補償するための必要最小限の保険である。

イ 学研災付帯学生生活保険（付帯学総）について

学研賠では正課であることが補償の範囲となっているが、付帯学総は正課中に限らず、また学内外を問わず補償対象であり、病気に対する補償やアルバイト中の対人・対物補償、日常生活での補償や、扶養者が事故で亡くなったり、重度後遺症を被った場合の育英・学資費用の補償など、幅広い賠償保険となっているため、加入を推奨している。

5 健康管理

学生、教職員の保健管理業務を専門的に集中的に取り扱うことを目的として、専任の医師、保健師による保健管理センター医学部分室を設置している。定期健康診断の他に、心身の健康や精神面の相談。採用試験等必要な場合、願い出による健康診断書の発行を行っている。その他、救急薬品を常備し、簡単な応急処置、カウンセラーによる相談も行っている。

6 学生生活相談

学務課（管理棟1階）の窓口において、修学上の問題、学内の施設案内等、どんな小さなことでも相談にのりますので、一人で思い悩むことなく、気軽に相談してください。

7 学会発表助成 国内及び海外における研究発表を行う場合の旅費の補助がある。

8 長期履修制度

職業を有している等の事情による者は、申し出により審査を行い認可された場合、4年を修業年限とする長期履修制度がある。

注意！ 連絡事項は看護学科棟1階の大学院生用掲示板で行います。

医学専攻 (博士課程)

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	86
共通科目講義スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・	87
医科学概論・特論（実技指導セミナー）開講講座・・・・・・・・	88
科目表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	90
学位論文審査の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・	94
学生生活支援について・・・・・・・・・・・・・・・・	95

はじめに

この冊子は、大学院医学系研究科博士課程の授業科目の履修方法及び内容の一部を示したものです。

授業科目の履修方法は、「香川大学大学院学則」及び「香川大学大学院医学系研究科規程」に定められております。

なお、博士課程を修了するための要件の概要は、4年（標準）以上在学し、本医学系研究科規程「別表第4」に従い、授業科目を履修し、30単位以上を修得の上、博士論文を提出し、論文審査に合格することです。

入学年度に履修科目登録を行いますので、所定の期日までに「履修届」を提出してください。履修届の提出がなく履修した科目の修得単位は、原則的に認められませんので注意してください。

次に、科目区分による修得単位数及び授業時間数の概要を説明します。

【共通科目（必修科目）】6単位

必修科目であり、医学系研究科（博士課程）の共通科目として6単位修得しなければなりません。共通科目の履修については出席及びレポートで評価します。

- ・医科学概論 2単位
集中講義20時間のうち16時間以上と実技指導セミナーを1講座受講
- ・医科学特論 2単位
講義24時間のうち16時間以上と実技指導セミナーを1講座受講
- ・希少糖科学特論 1単位
集中講義で行います。
- ・研究・生命倫理 1単位
「倫理委員会主催の講演会（学内）」と「APRIN e-Learning プログラム（研究倫理教育 e-Learning）」を受講すること。

【専門科目（選択科目）】16単位以上

選択科目は、研究テーマおよび博士論文テーマ等を基に研究を進めるための学習です。

4つの科目群から主科目を選択し、8単位以上（主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。但し、がんプロフェッショナル養成コースは除く。）、副科目（主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可）から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を修得します。

※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修です。

【課題研究】8単位

論文研究やその他の研究活動に必要な知識と技術を習得するための授業である。研究テーマの設定、研究計画の立案と修正、研究の実施、結果の分析、考察の各プロセスについて講義と演習を行う。

以上、【共通科目】6単位、【専門科目】16単位以上、【課題研究】8単位の合計30単位以上の単位を修得した上で、博士論文の審査を受けることができます。

【2024年度医科学概論・医科学特論】

講義スケジュール

【医科学概論】 講義16時間以上と実技指導セミナー1講座を受講

場所: 臨床講義棟2階講義室

月 日	9:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50	
4月4日 (木)	ガイ ダンス ※1	大学院とは・ 研究者倫理 (副医学部長) 〈2時間〉	図書館情報と研究 (医学部分館長) ※この講義のみ看護学科棟2階のマルチメ ディア実習室で行います。〈4時間〉		RIの特徴と研究への 利用 (星野、西本) 〈2時間〉	/
月 日	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50	18:00-19:30
4月5日 (金)	動物実験に 関する教育訓練 (星野/伊藤) 〈4時間〉	動物実験施設の役 割・利用者講習会 (星野/伊藤) 〈4時間〉	機器共用デジタルラボ施設の役割と その利用 (神鳥/中北) 〈4時間〉		大学院の国際競争力 /化学物質の適切な 取扱いについて (金西・和田) 〈2時間〉	研究手法としての形 態学の基礎と組織定 量法 (三木) 〈2時間〉

※1 ガイダンスで学生証をお渡しします。その際に、履修届等の提出書類について説明します。

【医科学特論】 講義16時間以上と実技指導セミナー1講座を受講

場所: 臨床講義棟1階講義室

	18:00-19:30 (2時間)	19:40-21:10 (2時間)
4月11日 (木)	新生児領域における臨床的病態解析のための トランスレーショナル・リサーチ (小児科学: 日下) 〈2時間〉	形態学・組織細胞化学アップデート (組織細胞生物学: 荒木) 〈2時間〉
4月12日 (金)	蛋白質機能解析技術 (自律機能生理学: 平野/山下) 〈2時間〉	細胞シグナル伝達解析技術: 蛋白質リン酸化とカルシウムシグナル (自律機能生理学: 平野) 〈2時間〉
4月17日 (水)	比較病態学 (薬理学: 西山) 〈2時間〉	トランスレーショナル・リサーチの実際 (薬理学: 西山) 〈2時間〉
4月18日 (木)	医療情報学 (医療情報学: 横井) 〈2時間〉	/
4月19日 (金)	癌個別化医療に利用される解析技術 (泌尿器科学: 杉元/張) 〈2時間〉	/
4月25日 (木)	ヒトゲノムプロジェクト、他生物ゲノム プロジェクトの動向とその意義 (総合生命科学: 竹崎) 〈2時間〉	タンパク質の3次元構造解析とその応用 (総合生命科学: 神鳥) 〈2時間〉
4月26日 (金)	癌免疫療法開発のための基礎的研究法 (呼吸器・乳腺内分泌外科学: 矢島) 〈2時間〉	遺伝子治療と機能解析 (呼吸器・乳腺内分泌外科学: 矢島/劉) 〈2時間〉

医学専攻
(博士課程)

2024年度医科学概論・特論(実技指導セミナー)開講講座

【実技指導セミナー】

開催日時・場所は担当教員の指示による。

専攻	講座	テーマ	主たる実験手法	担当教員
医学専攻	神経機能形態学	STEREOLOGYによる形態計測	組織標本(2次元)にStereologyを適応して、3次元の立体で粒子の数(例えば細胞数)を評価する方法を紹介する。	教授 准教授 助教 助教 三木崇範 鈴木辰吾 太田健一 大給日香里
	分子神経生物学	病態解析用モデル動物の作成と利用	精神神経疾患・神経変性疾患・脳梗塞モデルの作成と解析	教授 講師 山本 融 高橋弘雄
	耳鼻咽喉科学	細胞のイオン輸送をリアルタイムで定量する	パッチクランプ法とイオンイメージング	教授 准教授 星川広史 宮下武憲
	炎症病理学	電子顕微鏡を使った実験の進め方	電子顕微鏡での観察のための標本作成	教授 上野正樹
	皮膚科学 (2024年度休講)	蛍光抗体法の解釈と実際 (2024年度休講)	ヒト組織検体を用いた蛍光抗体直接法・間接法	教授 大日輝記
	呼吸器・乳腺内 分泌外科学	siRNAによるノックダウン	細胞核にsiRNAを導入し、ターゲット遺伝子の発現をノックダウンする実験について、講義と実習を行う。	教授 助教 矢島俊樹 劉 大革
	小児科学	HPLCの臨床応用	高速液体クロマトグラフィーを用いて、内因性及び外因性物質を分析する。	教授 講師 日下 隆 小谷野耕佑
		近赤外分光法の臨床応用	近赤外分光法を用いて脳および他の臓器の循環・代謝を評価する。	教授 講師 日下 隆 中村信嗣
	分子生理学	発現系を用いた膜蛋白質の機能解析	対象となる受容体やイオンチャネルをアフリカツメガエル卵母細胞に発現させ、電気生理学的にその機能を解析する。	講師 川鍋 陽
	生化学	脂質代謝酵素の性状解析	蛋白定量及びウエスタン・ブロッティング	教授 准教授 助教 岩部 美紀 宇山 徹 佐々木すみれ
	総合生命科学	3次元分子モデリングの手法を用いたタンパク質・リガンド相互作用の解析	1 タンパク質X線結晶解析によって3次元構造が決定されていく過程をコンピューター上で観察する。 2 タンパク質・リガント複合体の3次元分子モデリングをコンピューター上でを行い、分子力学・動力学計算により複合体構造を評価・解析を行う。	教授 准教授 神鳥成弘 吉田裕美
	総合生命科学	遺伝子・DNA塩基配列データ解析	病原遺伝子やDNA塩基配列データの情報のデータベースからの収集をコンピューターを用いて実際に行う	教授 准教授 竹崎直子 岩間久和
	薬理学	体液組成の解析	血中・尿中の電解質と浸透圧の測定、ならびに灰化法による組織中の構成成分の解析の実技指導する	教授 助教 助教 西山 成 北田研人 RAHMAN MD ASADUR
	消化器・神経内科	・医療機器開発 ・microRNAの解析方法	・医療機器開発の手段 ・消化器癌におけるmicroRNAの網羅的解析アレイでの解析方法	教授 講師 小原英幹 森下朝洋
	泌尿器科学	CD-DST法による抗がん剤感受性試験	コラーゲン・ゲル・ドロップ培養法で抗癌剤感受性を評価する	教授 助教 杉元幹史 張 霞
	眼科学	糖尿病網膜症の分子メカニズム	網膜虚血および緑内障モデルの作成	教授 准教授 鈴間 潔 山下彩奈
	内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学	細胞への遺伝子導入法	細胞への遺伝子導入は分子生物学的実験の基本となっている。今回は、実際の細胞、プラスミドを使用し、導入効率も含め一貫した遺伝子導入法のプロセスの説明をおこないたい。	教授 准教授 助教 村尾孝児 井町仁美 福長健作
	免疫学	フローサイトメトリーの原理と実際	フローサイトメトリーを用いた細胞表面抗原の評価	教授 助教 星野克明 仁木敏朗
	公衆衛生学 衛生学	生物統計学への招待	研究で使用する基本的統計処理手法について解説し、サンプルデータを用いた実技指導を行なう。	教授 准教授 平尾智広 宮武伸行

大学院医学系研究科博士課程の修了要件

【修了要件単位数について】

区分		修了要件単位数
共通科目	医科学概論 ※講義16時間以上と実技指導セミナー1講座を受講	2単位
	医科学特論 ※講義16時間以上と実技指導セミナー1講座を受講	2単位
	希少糖科学特論 ※集中講義	1単位
	研究・生命倫理 ※倫理委員会の講演会とAPRIN e-learningプログラムを受講	1単位
専門科目	ライフサイエンス科目群	16単位
	トランスレーショナルリサーチ科目群	
	臨床医・メディカルスタッフ養成科目群	
	がんプロフェッショナル養成科目群	
研究科目	課題研究	8単位
合計		30単位

【専門科目の修了要件単位数について】

1. ライフサイエンス科目群を主科目として選択する場合

区分		修了要件単位数	
専門科目	ライフサイエンス科目群	8単位 主科目から8単位以上（指導 教員担当科目を1科目以上含む）	4単位 全ての科目群から4単位以上
	トランスレーショナルリサーチ科目群	4単位 主科目以外の3科目群から 4単位以上	
	臨床医・メディカルスタッフ養成科目群		
	がんプロフェッショナル養成科目群 (がん専門選択科目のみ)		
合計単位数		16単位	

2. トランスレーショナルリサーチ科目群を主科目として選択する場合

区分		修了要件単位数	
専門科目	トランスレーショナルリサーチ科目群	8単位 主科目から8単位以上（指導 教員担当科目を1科目以上含む）	4単位 全ての科目群から4単位以上
	ライフサイエンス科目群	4単位 主科目以外の3科目群から 4単位以上	
	臨床医・メディカルスタッフ養成科目群		
	がんプロフェッショナル養成科目群 (がん専門選択科目のみ)		
合計単位数		16単位	

3. 臨床医・メディカルスタッフ養成科目群を主科目として選択する場合

区分		修了要件単位数	
専門科目	臨床医・メディカルスタッフ養成科目群	8単位 主科目から8単位以上（指導 教員担当科目を1科目以上含む）	4単位 全ての科目群から4単位以上
	ライフサイエンス科目群	4単位 主科目以外の3科目群から 4単位以上	
	トランスレーショナルリサーチ科目群		
	がんプロフェッショナル養成科目群 (がん専門選択科目のみ)		
合計単位数		16単位	

4. がんプロフェッショナル養成科目群を主科目として選択する場合

区分		修了要件単位数	
専門科目	がんプロフェッショナル養成科目群	8単位 共通コアカリキュラム及びがん 専門共通科目（計8単位）は必修	4単位 全ての科目群から4単位以上
	ライフサイエンス科目群	4単位 主科目以外の3科目群から 4単位以上	
	トランスレーショナルリサーチ科目群		
	臨床医・メディカルスタッフ養成科目群		
合計単位数		16単位	

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)
			必修	選択	
共通科目	医科学概論	1通	2		桑原知巳(分子微生物学) 他
	医科学特論	1通	2		桑原知巳(分子微生物学) 他
	希少糖科学特論	1通	1		桑原知巳(分子微生物学)・新井明治(国際医動物学)・南野哲男(循環器・腎臓・脳卒中内科学)・星川広史(耳鼻咽喉科学)
	研究・生命倫理	1通	1		桑原知巳(分子微生物学)・西山 成(薬理学)
専門科目 基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース ①ライフサイエンス科目群	発達神経科学	1・2通		4	三木崇範・鈴木辰吾(神経機能形態学)・日下 隆(小児科学)
	分子形態学特論	1・2通		2	荒木伸一(組織細胞生物学)・江上洋平(組織細胞生物学)
	組織細胞科学特論	1・2通		4	荒木伸一(組織細胞生物学)・江上洋平(組織細胞生物学)
	神経細胞生物学特論	1・2通		4	山本 融・高橋弘雄(分子神経生物学)
	神経生理学	1・2通		4	藤原 祐一郎・川鍋 陽(分子生理学)・山本 融(分子神経生物学)
	生体分子センサー特論	1・2通		4	藤原 祐一郎・川鍋 陽(分子生理学)
	呼吸循環生理学	1・2通		4	平野勝也・倉原琳(自律機能生理学)
	循環生理シグナル伝達学	1・2通		4	平野勝也・倉原琳(自律機能生理学)
	薬理学特論	1・2通		4	西山 成(薬理学)
	脂質生物学	1・2通		4	岩部美紀・宇山 徹(生化学)
	酵素学実験法	1・2通		4	岩部美紀・宇山 徹(生化学)
	医用化学特論	1通		4	和田健司(医用化学)
	核医学画像解析	1・2通		2	久富信之(医用物理学)
	腫瘍病理学	1・2通		2	門田 球一・水津 太(腫瘍病理学)・横平政直(医学教育学)
	分子神経病理学	1・2通		4	三木崇範・鈴木辰吾(神経機能形態学)・上野正樹・千葉陽一(炎症病理学)
	免疫組織化学	1・2通		4	上野正樹・千葉陽一(炎症病理学)
	免疫制御学	1・2通		4	星野克明(免疫学)
	寄生虫学特論	1・2通		2	新井明治(国際医動物学)
	衛生動物学特論	1・2通		2	新井明治(国際医動物学)
	微生物ゲノム科学	1・2通		2	桑原知巳・今大路治之(分子微生物学)
	生活習慣病予防論	1・2通		2	宮武伸行(衛生学)
	臨床疫学	1通		1	平尾智広・NLANU NGATU(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)
	生物統計学	1通		1	平尾智広・NLANU NGATU(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)
	医療管理学	1通		1	平尾智広・NLANU NGATU(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)
	健康危機管理論	2通		1	平尾智広・NLANU NGATU(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)
	国際保健論	2通		1	平尾智広・NLANU NGATU(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)
	法医学特論	1・2通		2	村瀬 壮彦(法医学)
	医学教育学特論	1・2通		2	横平政直・坂東修二(医学教育学)
	遺伝情報解析学	1・2通		4	竹崎直子・岩間久和(総合生命科学)
	疾患ゲノム情報学	1・2通		4	竹崎直子・岩間久和(総合生命科学)
生体分子立体構造学	1・2通		2	神鳥成弘・吉田裕美(総合生命科学)	
実験動物学・動物遺伝学	1・2通		2	伊藤 日加瑠(動物実験部門)	
糖鎖構造解析	1・2通		2	中北慎一(糖鎖機能解析研究部門)	
医療情報学	1・2通		4	横井英人・三上史哲(医療情報部)	

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)
			必修	選択	
専 門 科 目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース ②トランスレーショナルリサーチ科目群	バイオイメーキング技術の開発・応用	1通	2	荒木伸一(組織細胞生物学)・江上洋平(組織細胞生物学)
		中耳・内耳バイオイメーキング	2通	2	星川広史・宮下武憲(耳鼻咽喉科学)
		形成外科におけるバイオイメーキング	1・2通	2	永竿智久(形成外科学)・久富信之(医用物理学)
		細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通	4	平野勝也・倉原 琳(自律機能生理学)
		生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4	西山 成(薬理学)・宮武伸行(衛生学)
		加齢の分子機序	1・2通	2	門田 球一、水津 太(腫瘍病理学)・横平政直(医学教育学)
		免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4	星野克明(免疫学)
		微生物共生システムと応用	1・2通	2	桑原知巳・今大路治之(分子微生物学)
		健康測定・アセスメント	1・2通	2	宮武伸行(衛生学)
		医療経済・テクノロジーアセスメント	1通	1	平尾智広・NLANU NGATU(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)
		医療政策論	1通	1	平尾智広・NLANU NGATU(公衆衛生学)・宮武伸行(衛生学)
		死因究明技術の開発	1・2通	2	村瀬 壮彦(法医学)
		タンパク質分子設計	1・2通	2	神鳥成弘・吉田裕美(総合生命科学)
		精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4	山本 融・高橋弘雄(分子神経生物学)
		イオンチャネル病	1・2通	2	藤原祐一郎・川鍋 陽(分子生理学)
		睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1・2通	4	中村 祐・石川一朗(精神神経医学)・角 徳文(臨床心理学)
		認知症診断の技術研究	1・2通	4	中村 祐・石川一朗(精神神経医学)・角 徳文(臨床心理学)
		脂質異常症と心血管病	1・2通	4	南野哲男(循環器・腎臓・脳卒中内科学)・野間貴久(循環器内科)
		慢性腎臓病の進展抑制・機序の解明	1・2通	2	南野哲男(循環器・腎臓・脳卒中内科学)・祖父江理(腎臓内科)
		周産期の脳発達と子供の健康	1通	4	三木崇範(神経機能形態学)・日下 隆・岩瀬孝志・小谷野耕佑・中村信嗣(小児科学)
		高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2	日下 隆・岩瀬孝志・小谷野耕佑・中村信嗣(小児科学)
		近赤外分光法を用いた臨床研究	2通	2	日下 隆・岩瀬孝志・小谷野耕佑・中村信嗣(小児科学)
		前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2	杉元幹史(泌尿器科学)
		低侵襲手術式の開発	2通	2	上田修史(泌尿器・副腎・腎移植外科)
		癌とマイクロRNA	1通	2	小原英幹・出口一志(消化器・神経内科学)・森下朝洋(消化器内科)
		癌と遺伝子異常	2通	2	小原英幹・出口一志(消化器・神経内科学)・森下朝洋(消化器内科)
		がん薬物療法	1・2通	2	辻 晃仁(臨床腫瘍学)・奥山浩之(がんセンター)
		分子イメージングの臨床応用	1・2通	4	西山佳宏・山本由佳(放射線医学)
		放射線医学	1・2通	4	西山佳宏・山本由佳(放射線医学)
		動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4	村尾孝児・井町仁美(内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
		病理診断学の臨床応用	1・2通	4	羽場礼次(病理診断科)
		神経保護薬の臨床開発	1・2通	4	鈴間 潔・山下彩奈(眼科学)
救急・生体侵襲制御	1・2通	2	黒田泰弘(救急災害医学)		
臨床栄養・微生物学	1・2通	4	下野隆一(小児外科学)		

医学専攻
(博士課程)

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)
			必修	選択	
専 門 科 目	③臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群 高度医療人育成コース	希少糖医学	1通	1	星川広史 (耳鼻咽喉科学)
		地域医療学	1通	1	市来智子 (総合内科)
		高齢者医療学	1通	1	星川広史 (耳鼻咽喉科学)
		医療倫理	1通	1	南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)
		生活習慣病学	1通	1	村尾孝児・井町仁美 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
		災害医療・災害医学	1通	1	黒田泰弘 (救急災害医学)
		神経病学	1・2通	2	中村 祐・石川一朗 (精神神経医学)・出口一志 (消化器・神経内科学)・角 徳文 (臨床心理学)
		脳神経外科学	1・2通	4	三宅啓介 (脳神経外科学) 川西正彦 (脳神経外科)
		脳卒中特論	1・2通	2	三宅啓介 (脳神経外科学) 川西正彦 (脳神経外科)
		運動器病学	1・2通	2	石川正和 (整形外科学)
		精神病学	1・2通	4	中村 祐・森 崇洋・石川一朗 (精神神経医学)・角 徳文 (臨床心理学)
		腎・泌尿器病学	1・2通	4	上田修史 (泌尿器・副腎・腎移植外科)・南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・西山 成 (薬理学)・祖父江理 (腎臓内科)
		血液病学 (血液・造血器・リンパ)	1・2通	4	門脇則光 (血液免疫呼吸器内科学)・今滝 修 (血液内科)
		免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2	土橋浩章 (血液免疫呼吸器内科学)
		呼吸器病学 (内科学)	1・2通	2	金地伸拓 (血液免疫呼吸器内科学)
		呼吸器病学 (外科学)	1・2通	4	三崎伯幸・松浦奈都美 (呼吸器外科)
		先端腫瘍免疫治療学	1通	2	矢島俊樹 (呼吸器乳腺内分泌外科学)
		消化器病学 (内科学)	1・2通	2	小原英幹 (消化器・神経内科学)
		消化器病学 (外科学)	1・2通	2	岡野圭一 (消化器外科学)
		循環器病学 (内科学)	1・2通	2	南野哲男 (循環器・腎臓・脳卒中内科学)・野間貴久 (循環器内科)
		循環器病学 (外科学)	1・2通	4	堀井泰浩・山下洋一 (心臓血管外科学)
		母子周産期医学	1・2通	2	金西賢治・田中宏和・鶴田智彦 (周産期学婦人科学)
		皮膚病学	1・2通	2	大日輝記 (皮膚科学)
		眼病学	1・2通	2	鈴間 潔・山下彩奈 (眼科学)
		口腔病学	1・2通	2	三宅 実 (歯科口腔外科学)
		頭頸部病学	1通	2	星川広史・宮下武憲 (耳鼻咽喉科学)
		耳鼻咽喉疾患学	2通	2	星川広史・宮下武憲 (耳鼻咽喉科学)
		核医学	1・2通	4	西山佳宏・山本由佳 (放射線医学)
		IVR学	1・2通	4	西山佳宏・木村成秀 (放射線医学)
		麻酔学	1通	2	大瀧千代 (麻酔学)
		痛み学	1通	2	荻野優一 (麻酔学)
		呼吸循環制御学	2通	2	浅賀健彦 (麻酔学)
		小児科学	1・2通	2	日下 隆・岩瀬孝志 (小児科学)
		内分泌代謝学	1通	2	村尾孝児・井町仁美 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)
糖尿病学	2通	2	村尾孝児・井町仁美 (内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学)		
救命救急医学	1・2通	2	黒田泰弘 (救急災害医学)		
薬剤学	1・2通	2	小坂信二 (薬剤部)		
小児外科学	1・2通	4	下野隆一 (小児外科学)		

医学系研究科博士課程 科目表

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		担当教員(所属)	
			必修	選択		
専 門 科 目	④がんプロフェッショナル養成科目群 共通コアカリキュラム	研究方法論応用	1	1通	4	e-learning外
		・がん疫学論				
		・臨床研究論				
		・医療統計学				
		悪性腫瘍の管理と治療	1	1通		
		・検査、診断法概論				
		・治療法概論				
		・治療合併症、支持療法、緩和治療				
		・老年腫瘍学				
		・がんの心理社会的側面				
	医療倫理学・医療経済学	0.5	1・2通			
	医療対話学	0.5	1・2通			
	がんチーム医療実習	0.5	1・2通			
	医療情報学(腫瘍学における情報システム)	0.5	1・2通			
	が 共 通 専 門 目	がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	1	2通	4	
		臨床検査、病理、放射線診断学	0.5	2通		
		臓器別がん治療各論	2	2通		
がん緩和治療		0.5	2通			
が 選 択 専 門 目	放射線治療法	2通	1	柴田 徹(放射線腫瘍学)		
	臨床腫瘍学	2・3通	2	辻 見仁(臨床腫瘍学)・奥山浩之(がんセンター)		
	放射線腫瘍学	2・3通	2	柴田 徹(放射線腫瘍学)		
	合計					
課題研究		3・4通	8			

(履修方法)

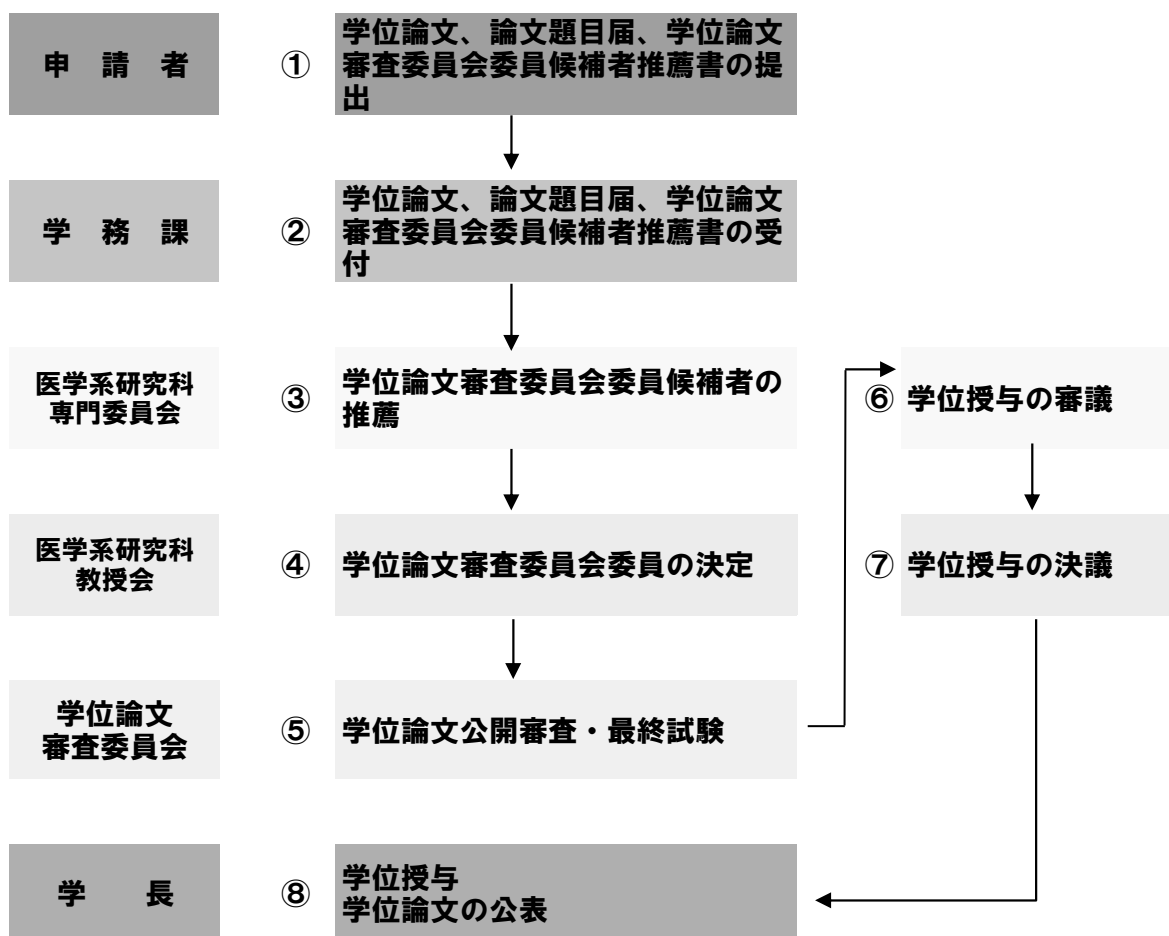
(1) 共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。

(2) 専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員(連携大学院については副指導教員)の開講する科目を1科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。

※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修とする。

※既修得の同一科目名の科目は履修できません。

学位論文審査の流れ



学生生活支援について

1 授業料免除

学業優秀と認められる者で、経済的理由により授業料を所定の期日までに納入することが困難な者は、願い出により選考の上、その期の授業料の全額又は半額を免除することがある。

2 独立行政法人日本学生支援機構（育英奨学事業）

人物、学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者に対して、選考の上、日本学生支援機構奨学規程に基づいて、次の奨学金が貸与される。

種 別	貸 与 月 額
第一種奨学金（無利子）	80,000 円、122,000 円、
第二種奨学金（有利子）	5 万円、8 万円、10 万円、13 万円、15 万円

3 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

大学に学ぶ学生が被る種々の正課中及び課外活動中及び通学中の災害に対する被害救済の措置を目的とした制度。正課中及び課外活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故や、住居と学校施設等との間の通学、学校施設間相互の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われる。本学では、この保険制度を採用し、入学者全員加入とし、各自で保険加入手続きを行うよう指導している。

4 損害保険

ア 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）について

この保険は、正課、学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合の、法律上の損害賠償を補償するための必要最小限の保険である。

イ 学研災付帯学生生活保険（付帯学総）について

学研賠では正課であることが補償の範囲となっているが、付帯学総は正課中に限らず、また学内外を問わず補償対象であり、病気に対する補償やアルバイト中の対人・対物補償、日常生活での補償や、扶養者が事故で亡くなったり、重度後遺症を被った場合の育英・学資費用の補償など、幅広い賠償保険となっているため、加入を推奨している。

5 健康管理

学生、教職員の保健管理業務を専門的に集中的に取り扱うことを目的として、専任の医師、保健師による保健管理センター医学部分室を設置している。定期健康診断の他に、心身の健康や精神面の相談。採用試験等必要な場合、願い出による健康診断書の発行を行っている。その他、救急薬品を常備し、簡単な応急処置、カウンセラーによる相談も行っている。

6 学生生活相談

学務課（管理棟 1 階）の窓口において、修学上の問題、学内の施設案内等、どんな小さなことでも相談にのりますので、一人で思い悩むことなく、気軽に相談してください。

7 学会発表助成

国内及び海外における研究発表を行う場合の旅費の補助がある。

注意！ 連絡事項は基礎臨床研究棟 1 階の大学院生用掲示板で行います。

**GRADUATE SCHOOL
OF MEDICINE**

**Master's
and
Doctoral
Course**



**KAGAWA
UNIVERSITY**